

# 独立監査人の監査報告書

平成30年4月27日

公益社団法人 千葉県看護協会

会長 星野 恵美子 様

大嶋良弘公認会計士事務所

公認会計士 大嶋良弘 

私は、公益社団法人千葉県看護協会の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの平成29年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表(貸借対照表内訳表を含む。)、正味財産増減計算書(正味財産増減計算書内訳表を含む。)及び財務諸表に対する注記、附属明細書、財産目録及び資金収支計算書について監査を行った。この財務諸表の作成責任は理事者にあり、私の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

私は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準及び管理規約に準拠して、公益社団法人千葉県看護協会の平成29年度の収支の状況及び同年度末日現在の財政状態をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

公益社団法人千葉県看護協会と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

## 監査報告書

公益社団法人千葉県看護協会  
会 長 星野 恵美子 様

平成 29 年度における公益社団法人千葉県看護協会の業務執行状況、公益目的事業会計、収益事業等会計、法人会計の管理、執行状況について、平成 29 年度監事監査実施計画に基づき、第 1 回（平成 29 年 11 月 13 日）及び第 2 回（平成 30 年 5 月 9 日）監査を実施したので、その結果を報告する。

### 監査の方法

- 1 業務に関しては、事業実績調書、証拠書類・諸帳簿を資料として、会長（代表理事）及び業務執行理事から報告と説明を受け関係書類を調査、閲覧し、業務執行状況を監査した。
- 2 会計に関しては、帳簿及び関係書類を調査、閲覧し、計算書により報告と説明を受け、また公認会計士からの監査報告書を検証して、会計管理、執行状況を監査した。

### 監査意見

業務執行、予算執行、財産の管理について、正確かつ適正に処理されていることを認める。

平成 30 年 5 月 9 日

公益社団法人千葉県看護協会

監 事 飯塚 忠義

監 事 松永 敏子

監 事 石井 菜子

## 第2号議案 平成30年度 役員及び推薦委員の選任について

定款第22条及び選挙運営規則第2条、役員を選任に関する規程第2条の規定により、役員及び推薦委員を選任することを求める。

- 1 役員(理事及び監事)については候補者数と選出数が同数のため、選挙によらず候補者を確定し、当総会の承認により役員を選任する。
- 2 推薦委員については、候補者数が選出数を上回るため、本日の定時総会において選挙を執行し、この選挙結果により選任する。

### I 役員(理事)候補者 選任数13名(候補者数13名)

役職	推薦・立候補	フリガナ氏名	職種	所属
理事	推薦	テラグチ ケイコ 寺 口 恵 子	看	公益社団法人千葉県看護協会
理事	推薦	マスブチ ミエコ 増 渕 美 恵 子	助	日本医科大学千葉北総病院
理事	推薦	フクドメ ヒロコ 福 留 浩 子	保	公益社団法人千葉県看護協会
理事	推薦	ウチヤマ ヒロコ 内 山 弘 子	看	在宅
理事	推薦	オオサワ トヨコ 大 澤 豊 子	助	帝京平成大学 健康医療スポーツ学部看護学科
理事	推薦	タカイ コウコ 高 井 孝 子	看	千葉県こども病院
理事	推薦	イシイ クミコ 石 井 久 美 子	看	医療法人社団協友会 柏厚生総合病院
理事	推薦	サヅカ ミサコ 佐 塚 み さ 子	看	訪問看護サボテン
理事	推薦	イトウ ジュンコ 伊 藤 淳 子	看	船橋市立医療センター
理事	推薦	カナザワ カオル 金 澤 薫	看	千葉大学医学部附属病院
理事	推薦	クリハラ サキコ 栗 原 サキ 子	看	社会医療法人社団さつき会 袖ヶ浦さつき台病院
理事	推薦	カノウ カヨコ 加 納 佳 代 子	看	学校法人東京農業大学東京情報大学 看護学部
理事	推薦	ヤマグチ キヨ子 山 口 規 子	准	社会医療法人社団正朋会 宍倉病院

※ 理事の選任は、当総会の選任決議による。

### II 役員(監事)候補者 選任数1名(候補者数1名)

役職	推薦・立候補	フリガナ氏名	職種	所属	区分
監事	推薦	マツナガ トシコ 松 永 敏 子	看	千葉市あんしんケアセンター 花見川	会員からの監事

※ 監事の選任は、当総会の選任決議による。

Ⅲ 推薦委員候補者 選任数 7 名（候補者数 8 名）

役 職	推薦・立候補	フリガナ 氏 名	職 種	所 属
推薦委員	推 薦	ツカモト キヨエ 塚 本 清 江	保	千葉県海匝健康福祉センター 八日市場地域保健センター
推薦委員	推 薦	ワダ リカ 和 田 利 香	助	千葉市立青葉病院
推薦委員	推 薦	マツカワ ナオミ 松 川 菜穂美	看	千葉市立海浜病院
推薦委員	推 薦	スズキ ミカ 鈴 木 美 香	看	千葉県循環器病センター
推薦委員	推 薦	ナガサカ タカエ 長 坂 奎 英	看	キッコーマン株式会社 キッコーマン総合病院
推薦委員	推 薦	ツルサキ ミユキ 鶴 崎 美優希	看	医療法人社団保健会 谷津保健病院
推薦委員	推 薦	イトウ ミヤコ 伊 東 ミヤコ都	看	医療法人社団誠馨会 セコメディック病院
推薦委員	立候補	モテギ モトコ 茂 木 基 子	看	医療法人財団東京勤労者医療会 東葛病院

※ 推薦委員の選任は、当総会における選挙結果による。

■ 会長推薦による選挙管理員候補者(選挙運営規則第7条)

フリガナ 氏 名	所 属
ヒダカ ミエコ 日 高 みえ子	社会医療法人社団木下会 千葉西総合病院
ヤナギモト ユウコ 柳 本 優 子	千葉大学医学部附属病院
イトウ ナオミ 伊 藤 直 美	医療法人社団愛友会 津田沼中央総合病院
カガミ ミキエ 加賀美 美紀恵	医療法人社団誠馨会 新東京病院
イマムラ カズコ 今 村 和 子	地方独立行政法人 さんむ医療センター

# 第3号議案 平成31年度 公益社団法人日本看護協会通常総会 代議員・予備代議員の選出について

以下のとおり推薦委員会から候補者の推薦があったので、これらの者を平成31年度日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員に選出することについて承認を求める。

## 平成31年度 公益社団法人日本看護協会通常総会代議員・予備代議員候補者

【代議員】

	地区	氏名	シメイ	職種	所 属
1	理事等	浅野 美知恵	アサノ ミチエ	看	東邦大学健康科学部看護学科
2		澤田 いつ子	サワダ イツコ	保	公益社団法人 千葉県看護協会
3		川名 千春	カワナ チハル	保	君津健康福祉センター
4		大澤 豊子	オオサワ トヨコ	助	帝京平成大学 健康医療スポーツ学部看護学科
5		高井 孝子	タカイ コウコ	看	千葉県こども病院
6		許斐 玲子	コノミ レイコ	看	社会福祉法人双樹会 地域密着型 特別養護老人ホーム リバーサイド
7		山口 規子	ヤマグチ キヨ	准	社会医療法人社団正朋会 穴倉病院
8	千葉	石井 邦子	イシイ クニコ	看	医療法人社団誠馨会 千葉メディカルセンター
9		中野 美子	ナカノ ヨシコ	看	医療法人社団誠仁会 みはま病院
10		中田 正浩	ナカダ マサヒロ	看	千葉県精神科医療センター
11		新井 玲子	アライ レイコ	看	医療法人社団誠馨会 千葉中央メディカルセンター
12	市原	入江 昭子	イリエ アキコ	看	帝京大学ちば総合医療センター
13	船橋	佐々木 悦子	ササキ エツコ	看	医療法人沖繩徳洲会 千葉徳洲会病院
14		光野 清美	ミツノ キヨミ	看	社会医療法人社団木下会 鎌ヶ谷総合病院
15		村山 美佐子	ムラヤマ ミサコ	看	船橋市立医療センター
16		上田 千春	ウエダ チハル	看	医療法人社団愛友会 津田沼中央総合病院
17	市川	金沢 えみ子	カナザワ エミコ	看	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター国府台病院
18		栗原 美和子	クリハラ ミワコ	看	公益社団法人地域医療振興協会 東京ベイ・浦安市川医療センター
19	松戸	乾 久美子	イヌイ クミコ	看	医療法人社団誠馨会 新東京病院
20	東葛	中村 美代子	ナカムラ ミヨコ	看	医療法人社団柏水会 初石病院
21		鍋田 芳子	ナベタ ヨシコ	看	医療法人社団真癒会 野田病院
22	印旛	高木 智美	タカギ トモミ	看	社会福祉法人聖隷福祉事業団 聖隷佐倉市民病院
23		植草 恵	ウエクサ メグミ	看	日本医科大学千葉北総病院
24	利根	堀越 佳代	ホリコシ カヨ	看	国保多古中央病院
25	山武	塚原 信江	ツカハラ ノブエ	看	医療法人社団鎮誠会 季美の森リハビリテーション病院
26	長夷	倉津 与之美	クラツ ヨシミ	看	社会医療法人社団正朋会 穴倉病院
27	君津	金網 はるみ	カネツナ ハルミ	看	国保直営総合病院 君津中央病院
28	安房	本橋 則子	モトハシ ノリコ	看	社会医療法人社団木下会 館山病院

※保健師、准看護師、助産師を各1名含むこと。候補者の所属は、平成30年4月1日時点の会員登録情報による。

【予備代議員】

	選出区分	氏名	シメイ	職種	所 属
1	理事等	増 渕 美恵子	マスブチ ミエコ	助	日本医科大学千葉北総病院
2		福留 浩子	フクドメ ヒロコ	保	公益社団法人 千葉県看護協会
3		内山 弘子	ウチヤマ ヒロコ	看	在宅
4		石井 久美子	イシイ クミコ	看	医療法人社団協友会 柏厚生総合病院
5		伊藤 淳子	イトウ ジュンコ	看	船橋市立医療センター
6		小賀坂 好子	コガサカ ヨシコ	保	帝京平成大学 健康医療スポーツ学部看護学科
7		森岡 ひとみ	モリオカ ヒトミ	准	医療法人財団松園会 東葛クリニック病院
8	千葉	石川 紀子	イシカワ ノリコ	看	千葉県立保健医療大学
9		宮野 公恵	ミヤノ キミエ	看	東京情報大学 看護学部
10		池畑 久美子	イケハタ クミコ	看	千葉県千葉リハビリテーションセンター
11		坂本 照美	サカモト テルミ	看	独立行政法人国立病院機構 下総精神医療センター
12	市原	青田 孝子	アオタ タカコ	看	独立行政法人労働者健康安全機構 千葉労災病院
13	船橋	三浦 千賀子	ミウラ チカコ	看	医療法人沖繩徳洲会 千葉徳洲会病院
14		柴田 恵子	シバタ ケイコ	看	東京女子医科大学八千代医療センター
15		市川 智子	イチカワ トモコ	看	独立行政法人地域医療機能推進機構 船橋中央病院
16		荒澤 恵子	アラサワ ケイコ	看	社会医療法人社団木下会 鎌ヶ谷総合病院
17	市川	安藤 勇子	アンドウ ユウコ	看	医療法人友康会 行徳中央病院
18		佐藤 香里	サトウ カオリ	看	医療法人社団平静会 大村病院
19	松戸	喜瀬 はるみ	キセ ハルミ	看	医療法人財団松園会 東葛クリニック病院
20	東葛	高橋 恵美	タカハシ エミ	看	医療法人社団聖仁会 我孫子聖仁会病院
21		長坂 奎英	ナガサカ タカエ	看	キッコーマン総合病院
22	印旛	瀧 真砂美	コウケツ マサミ	看	医療法人社団愛信会 佐倉中央病院
23		工藤 由花	クドウ ユカ	看	東邦大学医療センター佐倉病院
24	利根	篠塚 信子	シノツカ ノブコ	看	国保小見川総合病院
25	山武	林 孝枝	ハヤシ タカエ	看	大網白里市立 国保大網病院
26	長夷	亀田 日出子	カメダ ヒデコ	看	医療法人SHIODA 塩田記念病院
27	君津	賀来 かおり	カク カオリ	看	社会医療法人社団さつき会 袖ヶ浦さつき台病院
28	安房	山岸 智子	ヤマギシ トモコ	看	社会福祉法人太陽会 安房地域医療センター

※保健師、准看護師、助産師を各1名含むこと。候補者の所属は、平成30年4月1日時点の会員登録情報による。

メ 毛

Handwriting practice area with 20 horizontal dashed lines.

---

---

## 報 告 事 項

---

---

平成30年度 公益社団法人千葉県看護協会事業計画及び収支予算について

平成30年度事業計画及び収支予算について理事会において承認されたので、報告する。



# 平成30年度 (公社) 千葉県看護協会事業計画について

## 【スローガン】

「看護の専門性と職能団体としての力を発揮し、県民の健康な生活を支えよう」

## 【重点項目・重点事業】

- 1 2025年を見据えた看護職の定着・確保の推進
- 2 質の高い看護の提供体制の構築
- 3 地域包括ケアにおける看護提供体制の構築

※項目は定款第4条の事業に基づき区分

項目	目的	事業	内 容 (新規事業：ゴシック)	予 算 (単位：千円)
① 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業	県民に安全で安心な医療・看護を提供するために、職能団体の責任において、専門職としての生涯教育を提供し、看護職の資質の向上を図る。	1. 生涯教育	(1)生涯教育(62コース) ①資格修得教育 7コース ・医療安全管理者養成研修 ・認定看護管理者教育課程 ファースト・セカンドレベル教育課程 ・AHA(アメリカ心臓協会)心肺蘇生法トレーニング(BLS・ACLS・PEARS) ・訪問看護師養成講習 ②ステップアップ研修 23コース ・段階別ステップアップ研修(新人看護職員研修、2年目、中堅期・管理者等) ・領域別ステップアップ研修(看護研究、糖尿病、災害等) ・医療経済と地域包括ケア(公開研修 看護管理者研修-1日目) ・糖尿病患者のセルフケア支援～糖尿病性腎症の重症化予防～ ・看護研究Ⅲ ③看護実践コース 32コース ・地域包括ケアを進めるための看護活動 ・エンド・オブ・ライフ・ケア(ELNEC-J)研修 ・助産実践能力向上研修 ・タイムマネジメント～ワークもライフも生き生きと！～ ・その人らしい生き方を支える意思決定支援～療養者へ寄り添うために～ ・感染症危機管理研修～新興・再興感染～ ・高齢者施設における感染管理 ・多職種連携による退院支援(公開研修 訪問看護師養成講習会-2日目) 千葉県随時委託事業(再掲) ①新人看護師研修 ②新人助産師研修 ③実地指導者研修 ④教育担当者研修	公益目的事業 会計
		2. 千葉県看護研究学会	(1)第37回千葉県看護研究学会 日時 平成31年2月27日(水) 場所 未定	
		3. 図書室の管理運営	(1)図書室の管理運営 (2)資料・文献検索・レファレンス	
		4. 委員会の開催	(1)事業運営のための委員会の開催 ①教育委員会 年6回 ②看護研究委員会 年6回 ③認定看護管理者教育課程運営委員会 年4回	
		小 計	108,094	
② 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業	ワーク・ライフ・バランスを踏まえて、看護職が専門性を発揮し、働き続けられるための環境づくりを推進し、看護職の確保定着を図る。	1. 第4次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進	(1)第4次千葉県看護職定着確保推進計画の普及・推進 (2)千葉県看護職定着確保推進計画の推進 (3)看護職定着確保対策協議会の開催 年1回 (4)看護職定着・確保対策事業の普及啓発(再掲) ①「看護ちば」、ホームページ等による広報 ②各種協会事業を通じた普及 (5)労働環境改善委員会の開催 年6回	公益目的事業 会計
		2. 看護職の労働環境の向上	(1)ワーク・ライフ・バランスの推進 ①WLB推進部会の開催 年5回 ②WLBワークショップ 取組み施設6施設 ・WLBフォローアップワークショップの開催 ・WLB推進事業情報交換会の開催 ③インデックス調査 ④取組み3年目評価会議の開催 ⑤安房地区等WLB研修会の開催 (2)千葉県医療勤務環境改善支援センター(千葉県実施) 看護管理アドバイザー 70日 ①相談窓口開設 ②アドバイザー派遣	
		3. 看護進路相談事業	(1)出前授業(いのちの大切さ教育) (2)ふれあい看護体験事業 (3)進路相談事業 (4)進路担当教員等への情報提供	
		4. 中小規模病院看護管理者の研修及び情報交換会	(1)中小規模病院看護管理者の研修及び情報交換会(地区別)	



項目	目的	事業	内容 (新規事業：ゴシック)	予算 (単位：千円)
② 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業	ワーク・ライフ・バランスを踏まえて、看護職が専門性を発揮し、働き続けられるための環境づくりを推進し、看護職の確保定着を図る。	5. 地域に必要な看護職確保の推進モデル事業	(1)看護職の定着確保に係る実態調査 (2)看護職の無料職業紹介 ・ナースセンターのコンピュータシステム eナースセンター登録 (3)届出制度 ①ナースセンターのコンピュータシステム(とどけるん)を利用し、離職届の受理 ②とどけるん登録者へ就業の意思確認とeナースセンターへの登録の働きかけ(一斉メール等) ③合同就職説明会開催情報、研修会、求人情報、施設概要等の提供 ④届出者に対する就業支援 ⑤就業確認 往復はがきによる就業調査 (4)未就業看護職の就業支援 ①看護基礎技術講習会(5回/月程度開催) ②合同就職説明会の開催 ③訪問看護基礎研修会 ・半日コース 年5回(地域別2回 看護会館3回) ・1日コース 年3回(看護会館) ・研修会受講後の再就業支援(再掲) ④看護職への求人情報の提供 ⑤公共職業安定所と連携した相談ブースの設置(千葉2回/月、松戸2回/月、木更津1回/月、成田1回/月、船橋1回/月) ⑥未就業看護師等再就業支援セミナーの開催 ⑦サテライト事業(千葉版)の推進 ・公共職業安定所と連携した相談ブースの設置(再掲) ・合同就職説明会の開催(再掲) ・未就業看護師等再就業支援セミナーの開催 2回/年程度(再掲) (ナースセンター、その他ハローワーク等にて開催) ⑧就業相談推進アドバイザーによる施設訪問 ⑨プラチナナース研修会 対象：55才以上で定年退職を迎える看護職、定年した未就業看護職 内容：年金制度について、退職後の職場選び等 ⑩ナースセンター来所者、ハローワーク相談者への就業確認 ・往復はがき送付による調査 (5)ナースセンター運営委員会の開催 年1回 (6)ナースセンター事業の広報 (7)関係機関との連携(日本看護協会、中央ナースセンター、公共職業安定所等) (8)看護職への相談支援 (9)看護進路相談事業(再掲) (10)ナースセンターの維持管理	公益目的事業 会計
		6. ナースセンター事業 (千葉県委託)		
			小 計	71,723
③ 訪問看護の推進に関する事業	在宅医療の中核を担う訪問看護の質の向上を図り、安定的な供給を図る。	1. 訪問看護推進事業 (千葉県委託)	(1)訪問看護推進協議会の開催 (2)訪問看護に関する総合相談の実施 (3)訪問看護の普及啓発事業 ①看看連携・看看ケアマネ連携フォーラム(松戸地区、他1ヶ所) ②訪問看護病院経営者講習会(年1回) ③リーフレットの作成 (H30年度診療報酬・介護報酬・障害者サービス等報酬のトリプル改定) (4)訪問看護師指導者育成研修会 (5)訪問看護再就職支援事業 ①訪問看護ステーション見学体験 ②訪問看護就職フェア (1)訪問看護師人材育成事業 ①「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業 ・新卒訪問看護師(1年目1名 2年目1名) ・潜在訪問看護師(2名) ②訪問看護師養成講習会の開催(再掲) (2)訪問看護ステーションIT化等推進事業 ①「(旧)千葉県看護協会版訪問看護ソフト」用IT機器貸与の継続管理 ②訪問看護の質評価・経営診断シミュレーションシステムの普及 (1)日本看護協会、訪問看護事業協会等との連携 (2)医師会、千葉県訪問看護ステーション協会等との連携	公益目的事業 会計
		2. 訪問看護推進事業 (協会単独事業)		
			小 計	18,128

項目	目的	事業	内容 (新規事業：ゴシック)	予算 (単位：千円)
④ 県民への健康・福祉の増進に関する事業	看護を通して、県民の健康の保持増進に寄与するとともに、看護への理解を深める。	1. 「看護の日」「看護週間」事業	(1)第28回県民が集う「看護の日」事業 ①地区部会行事 平成30年5月12日(土) 【テーマ】 看護の心をみんなの心に～地域で輪となりつなげる看護～ ・場所 12地区部会が決定した場所 ・内容 地区独自の事業(測定、体験、助産師の仕事PR、相談等) ②実行委員会の開催(2回)	公益目的事業 会計
		2. 「まちの保健室」事業	(1)常設型の開催 ①開催場所 12地区部会の決定会場 (2)イベント型の積極的な開催	
④ 県民への健康・福祉の増進に関する事業		3. 自殺予防対策	(1)心の総合相談 ①専用電話・専用メールによる相談対応 ②自殺予防に関する広報 (2)人材育成研修の開催(再掲) ①「職場適応を支えるメンタルヘルス」(再掲) ②「看護師のストレスマネジメント～アンガーマネジメントの活用を中心に～」(再掲)	
		4. 千葉県小児救急電話相談事業 ※平成30年度から「子ども医療相談事業(#8000事業)」に名称変更予定	(1)相談員の登録・管理 ・相談時間 19:00～6:00 ・相談体制 19:00～22:00 3名 22:00～6:00 2名 (2)相談員の勤務調整(24名) (3)相談員研修会の開催 (4)小児救急電話相談事業協議会への出席	
④ 県民への健康・福祉の増進に関する事業		5. 関係機関・他団体への協力	(1)研修会等への講師紹介や派遣 (2)行事等への参加	
		6. 災害支援対策事業	(1)災害支援ネットワークの強化 ①災害時における関係機関との連携 ・日本看護協会及び都道府県看護協会 ・千葉県、市町村 ②平常時における連携 ・県内施設、日本看護協会等合同防災訓練 ・九都県市合同防災訓練、市町村等訓練への参加 (2)災害に備えた支援体制の整備 ①災害支援ナースの登録促進 ②災害支援ナースの登録・管理 ③災害救護対応マニュアルの見直し ④災害時の災害支援ナースの派遣調整 ⑤災害時必要物品の管理 (3)災害支援ナースの育成 ①「災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～」(再掲) ②「災害医療と看護(実践編)」(再掲) ③災害支援ナース更新・再登録要件講習会 (4)災害対策委員会(特別委員会)の開催 年3回程度	
			小計	24,123
⑤ 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業	看護を取り巻く課題を明確にし、看護職の専門性や看護の発展に寄与する。	1. 職能委員会(職能)	(1)保健師職能委員会 年6回程度 (2)助産師職能委員会 年6回程度 (3)看護師職能委員会(領域Ⅰ) 年6回程度 (4)看護師職能委員会(領域Ⅱ) 年6回程度	公益目的事業 会計
		2. 職能集会・交流会(職能)	(1)職能集会 ①保健師職能集会 1回 ②助産師職能集会 1回 ③看護師職能集会(領域Ⅰ) 1回 ④看護師職能集会(領域Ⅱ) 1回 (2)各職能別交流会 ①保健師職能交流会 1回 ②助産師職能交流会(管理者、中堅) 2回 ③看護師職能合同交流会(領域Ⅰ・領域Ⅱ) 1回 ④准看護師交流会 1回 (3)その他 ①助産師職能学会等研究発表 1回	
⑤ 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業		1. 県行政等への要望・意見具申(看護制度)	(1)県の翌年度予算等に関する要望書の提出 (2)県議会等の活動への協力依頼等 (3)千葉県医療審議会等への参画	
		2. 看護関連施策に対する提言(看護制度)	(1)国・日本看護協会等の要望・提言 (2)資格認定制度の推進 ①専門看護師、認定看護師等の資格取得の促進 ②特定行為に係る看護師の研修制度の普及・資格取得の推進	
			小計	7,163
⑥ 指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに訪問看護の実施に関する事業	在宅療養者に質の高い訪問看護及び居宅介護支援を提供するとともに、訪問看護の普及啓発等を通して在宅療養者の環境づくりに寄与する。	1. 訪問看護事業	(1)質の高い訪問看護の提供 (2)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 (3)24時間、緊急時の訪問看護の提供	公益目的事業 会計
		2. 居宅介護支援事業	(1)ケアプランの提供 (2)地域のネットワークづくり (3)利用者の申請代行	
⑥ 指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに訪問看護の実施に関する事業		3. 訪問看護の普及	(1)訪問看護研修生の受入れ (2)看護学生実習の受入れ	
		4. 地域ニーズに応じた運営体制の整備	(1)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 (2)ちば訪問看護ステーション定例会議 月1回 (3)ちば訪問看護ステーション運営会議 年3回程度	

項目	目的	事業	内容 (新規事業：ゴシック)	予算 (単位：千円)
⑥ 指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに訪問看護の実施に関する事業	在宅療養者に質の高い訪問看護及び居宅介護支援を提供するとともに、訪問看護の普及啓発等を通して在宅療養者の環境づくりに寄与する。	5. 医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携	(1)医療機関、介護支援専門員等との連携 ①地域連携の会・交流会、ケア担当者会議への参加 (2)利用者確保のための広報活動	公益目的事業 会計
		6. 職員の資質の向上	(1)事例検討会 (2)研修会・学会等への参加 (3)地域の行事・交流会、連絡会等への参加(再掲)	
		7. ちば訪問看護ステーション未来づくり計画の推進	(1)看護協会立の訪問看護ステーションとしての公的・先駆的な取組み (2)職員が働きやすく、魅力ある職場づくり (3)経営の安定化	
			小 計	59,799
⑦ その他 この法人の目的を達成するために必要な事業	県民の健康な生活の実現に貢献するために、地域の特性を考慮した看護の提供及び保健知識の普及を行う。	1. 地区部会活動事業	(1)具体的な地区部会活動 ①役員会 年5回程度 ②連絡会 年2回程度 ③研修会 年3回 ④まちの保健室の開催 (再掲) ⑤「看護の日」「看護週間」事業 (再掲) ⑥その他、地区特有の事業 (2)看護職定着確保対策の推進 ①合同就職説明会の開催 (再掲) ②医療安全担当者地区交流会の開催(再掲)	公益目的事業 会計
		1. 情報提供、広報事業	(1)千葉県看護協会の広報 ①機関誌「看護ちば」の発行 年4回 ②ホームページの充実 ③協会パンフレット等の活用 (2)広報委員会の開催 年6回	
	情報提供及び広報を行う。		小 計	34,787
	当協会会員に対する相互扶助等の(福利厚生)事業を行う。	1. 施設の貸与等事業 2. 販売手数料及び出展広告に関する事業 3. 会員サービス・福祉の充実等	(1)茂原市本納建物の貸付 (2)別館2階会議室②の貸付  (1)看護関連図書の紹介 (2)総会・医療安全大会等 出展広告掲載業者の募集 (3)会員管理受託業務及び代議員選出受託業務 (日本看護協会)  (1)会員への相談支援、情報提供 (2)看護職の表彰 (3)慶弔、病氣見舞い (4)災害時の支援(再掲) (5)会員福利厚生サービスの実施・広報	収益事業 会計
			小 計	8,690
	県民の健康な生活の実現に貢献するために、公益社団法人としての組織運営を円滑・適正に行う。	1. 組織運営に関する会議等の開催	(1)総会 年1回 ①日時：平成30年6月19日(火) ②場所：ホテルポートプラザちば (2)理事会 年6回程度 (3)施設等会員代表者会 年2回 (7/19or20、1月中旬～下旬)ホテルポートプラザちば (4)地区部会長会 年2回 (7月、2月) (5)保助看護職能委員会(再掲) 年6回程度 (6)推薦委員会 年6回程度 (7)常任委員会 (再掲) 年6回程度 教育委員会 労働環境改善委員会 医療安全委員会 広報委員会 会員増進委員会 看護研究委員会 (8)千葉県看護連盟との連携	法人 会計
	2. 会員増の促進	(1)新規・再入会の促進 ①新人看護職の入会促進 ②未加入施設への入会促進 ③保健師・准看護師の入会促進 (2)継続会員への勸奨 (3)看護学生に向けた協会案内 (4)(仮称)千葉県看護協会 会員システム説明会(年1回) (5)ナースシップ運用に伴う会員管理システム等の改修 (6)会員増進委員会の開催 年6回		
	3. 公益社団法人に係る届出事務(千葉県知事等)	(1)平成31年度事業計画・収支予算等の提出(3月) (2)平成29年度定期報告(事業報告・決算報告等)(6月) (3)役員等の変更登記及び届出		
	4. 日本看護協会との連携	(1)法人会員会・理事会 (2)職能委員長会 (3)日本看護協会通常総会代議員選出		
	5. 行政等との連携	(1)千葉県及び市町村主催の会議等への参画 (2)三師会、日本助産師会及び関係団体との連携 (3)関係団体の行事等への協賛・後援		
	6. 役員・職員の資質の向上と福利厚生	(1)研修の実施 (2)健康診断及びインフルエンザ予防接種		
	7. 協会資産の管理	(1)看護会館等の管理 ①看護会館の管理 イ 保全等 □ 環境整備 ②協会物品の管理 イ 物品台帳の整備 ③公用車の管理 (2)情報資産の管理・活用 ①情報資産の管理 イ 情報セキュリティの確保 □ 個人情報関連業務の標準化 ②情報資産の活用 イ グループウェア、ファイルサーバー等による情報共有		
			小 計	40,302
			予 算 合 計	372,809

# 平成30年度 公益社団法人千葉県看護協会収支予算について

## 平成30年度予算の概要

### 1 予算編成方針

平成24年度、新公益社団法人へ移行したことに伴い、予算の編成にあたっては、公益目的事業を重視し、事業計画を円滑かつ効率的に推進するため、限りある収入を効果的に活用することを旨に、重点事業を設定し、また個別事業ごとに事業の内容を精査し、経費を積算したうえで予算を編成したものである。

### 2 予算の作成方式

(1) 法令により新公益法人制度に準拠した「20年会計基準」を適用しており、収支予算は、新基準に基づいた「損益ベース」の収支予算書で構成している。

\* 「平成20年会計基準」 国の定める公益社団法人の標準会計方式（平成20年策定、施行）

(2) 収支予算は、大きく「公益目的事業会計」、「収益事業等会計」、「法人会計（全体管理費）」の3つの会計区分として構成される。

(3) 「公益目的事業会計」は、定款第4条（事業）の規定による7つの事業に区分している。

(4) 「収益事業等会計」は、収益事業「施設の貸与等事業」「販売手数料及び出展広告料に関する事業」と、その他の事業（相互扶助（共益）事業）「会員福利厚生等に関する事業」に区分している。

(5) 平成30年度予算は、公益社団法人の法定要件として求められる、次の財務三基準を考慮して作成し、これらの基準をクリアーしている。

① 公益目的事業に係る収入が事業実施に要する費用を超えないこと

（収支相償の原則）

② 公益目的事業比率が事業費全体の50%以上となるものであること

（50%ルール）

③ 遊休財産額（用途を定めない財産）が保有制限額を超えないこと

### 3 予算の構成等

#### (1) 概況

① 全体予算の規模は、収益で385,830千円、費用で372,809千円である。

前年度決算との比較において主な点は以下のとおりである。

イ) 研修会参加料：64,375千円→60,901千円

- ・呼吸器系疾患急変予防アセスメント等の受講料増：2,510千円増
- ・認定看護管理者教育等の受講料減：5,984千円減

ロ) 看護職員の資質向上研修事業受託料：25,139千円→14,234千円

- ・認知症看護研修：810千円増
- ・NICU看護師養成研修：388千円増
- ・看護教員養成講習会（隔年実施）：11,051千円減
- ・実習実地指導者講習会：567千円減
- ・喀痰吸引等指導者養成講習会：485千円減

ハ) ナースセンター事業受託料：34,065千円→36,000千円

- ・就業相談推進アドバイザー1名増：1,935千円増

② 費用内訳は、次のとおりである。

公益目的事業	323,817千円 (86.9%)
収益事業等	8,690千円 (2.3%)
法人会計	40,302千円 (10.8%)
<hr/>	
計	372,809千円 (100%)

#### (2) 特記事項

① 受取入会金及び受取年会費については、新規入会数2,700人、会員数26,000人を見込み算定している。

② 受取入会金及び受取年会費については、制度上、原則として50%を公益目的事業会計に計上する必要がある等の理由から、公益目的事業会計へ50%を計上し、残額を法人会計へ計上している。

ただし、実際の執行にあつては、法人会計から公益目的事業の費用も負担することとなる。

(入会金・年会費の50%だけを公益目的事業に用いるということではない。)

③ 県等他団体からの受託・補助等事業については、見込額をもとに予算を計上しているものである。

# 平成30年度 収支予算書（概要）

## 平成30年度 収支予算

(単位：千円)

経常収益計	385,830
経常費用計	372,809
当期経常増減額	13,021
当期一般正味財産増減額	13,021
正味財産期首残高	721,334
正味財産期末残高	734,355

## 収益の部

(単位：千円)

会計区分	科目	予算額	前年度 予算額	増減額	構成比率	
公益 目的 事業 会計	特定資産受取利息	5	145	△ 140	0.00%	
	受取入会金	16,200	16,200	0	4.20%	
	受取年会費	78,000	78,000	0	20.22%	
	研修会参加料	60,901	61,511	△ 610	15.78%	
	事業受託料 収益	看護職員の資質向上研修事業受託料（千葉県）	14,234	27,410	△ 13,176	3.69%
		ナースセンター事業受託料・管理受託料（千葉県）	36,000	34,065	1,935	9.33%
		訪問看護推進事業受託料（千葉県）	5,933	5,389	544	1.54%
		小児救急電話相談事業受託料（千葉県）	1,383	1,309	74	0.36%
		インターネット配信研修受託料（日本看護協会）	672	1,800	△ 1,128	0.17%
		小計	58,222	69,973	△ 11,751	15.09%
	訪問看護・居宅介護支援事業収益 ※特定資産受取利息及び受取利息を除く	59,798	57,150	2,648	15.50%	
	その他事業収益（受取手数料・雑収益）	1,779	1,649	130	0.46%	
	受取補助金等	教育助成金（日本看護協会）	9,200	9,323	△ 123	2.38%
		看護の普及啓発助成金（日本看護協会）	100	100	0	0.03%
		小計	9,300	9,423	△ 123	2.41%
	受取寄附金	1,300	1,300	0	0.34%	
	事業外収益（受取利息・雑収益）	1	1	0	0.00%	
公益目的事業 計	285,506	295,352	△ 9,846	74.01%		
収益事業等 会計	施設の貸身等事業	1,200	781	419	0.31%	
	販売手数料及び 出展広告料に 関する事業	807	807	0	0.21%	
	日本看護協会受託料（会員管理業務・代議員業務）	4,007	3,944	63	1.04%	
	会員福利厚生 等に関する 事業	98	102	△ 4	0.03%	
収益事業等 計	6,112	5,634	478	1.57%		
法人 会計	特定資産受取利息	1	29	△ 28	0.00%	
	受取入会金	16,200	16,200	0	4.20%	
	受取年会費	78,000	78,000	0	20.21%	
	受取利息及び雑収益	11	12	△ 1	0.00%	
	法人会計 計	94,212	94,241	△ 29	24.42%	
経常収益計	385,830	395,227	△ 9,397	100.00%		



費用の部

(単位：千円)

会計区分	定 款 事 業		予算額	前年度予算額	増減額	構成比率	
公 益 目 的 事 業 計	①	教育・研修等による看護の質の向上に関する事業	生涯教育	79,755	77,589	2,166	21.39%
			千葉県看護研究学会				
			図書室の管理運営				
			委員会の開催				
		資質向上(県)	千葉県受託研修	28,339	38,652	△ 10,313	7.60%
	小 計			108,094	116,241	△ 8,147	28.99%
	②	看護師等の労働環境等の改善、就業促進等により、看護師等の人材確保・定着に関する事業	看護職確保・定着事業	17,082	20,101	△ 3,019	4.58%
			第4次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進				
			看護職の労働環境の向上				
		ナースセンター事業(県)	ナースセンター事業(千葉県委託)	42,168	37,024	5,144	11.31%
		医療看護安全	医療・看護における安全対策	12,473	12,384	89	3.35%
	小 計			71,723	69,509	2,214	19.25%
	③	訪問看護の推進に関する事業	訪問看護推進	9,693	10,502	△ 809	2.60%
			訪問看護ステーションIT化等推進事業				
			関係機関との連携				
		訪問看護推進(県)	訪問看護推進事業(千葉県委託)	8,435	7,731	704	2.26%
	小 計			18,128	18,233	△ 105	4.86%
	④	県民への健康・福祉の増進に関する事業	保健知識普及啓発	16,651	15,878	773	4.47%
			「看護の日」「看護週間」事業				
「まちの保健室」事業							
自殺予防対策							
千葉県小児救急電話相談事業							
関係機関・他団体への協力							
災害救護対策		災害支援対策事業	7,472	7,445	27	2.00%	
関係機関・他団体への協力							
小 計			24,123	23,323	800	6.47%	
⑤	看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業	職能	職能委員会、職能集会、交流会	5,618	5,496	122	1.51%
		看護制度	県行政等への要望、意見具申	1,545	1,437	108	0.41%
			看護関連施策に対する提言				
小 計			7,163	6,933	230	1.92%	
⑥	介護保険法に基づく指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業	訪問看護・居宅介護	訪問看護事業	59,799	55,867	3,932	16.04%
			居宅介護支援事業				
			訪問看護の普及				
			地域ニーズに応じた運営体制の整備				
			医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携				
			職員の資質の向上				
小 計			59,799	55,867	3,932	16.04%	
⑦	その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	地区部会	地区部会活動事業	15,262	15,378	△ 116	4.09%
		広報	情報提供、広報事業	13,142	14,632	△ 1,490	3.53%
		公益目的事業共通	各公益目的事業に係る共通経費	6,383	6,416	△ 33	1.71%
		小 計			34,787	36,426	△ 1,639
公益目的事業 計			323,817	326,532	△ 2,715	86.86%	
収益事業等会計	施設の貸与等事業	施設の貸与等事業に伴う事業費		755	754	1	0.20%
	販売手数料及び出展広告料に関する事業	販売手数料及び出展広告料に関する事業に伴う事業費		2,862	3,527	△ 665	0.77%
	会員福利厚生等に関する事業	会員福利厚生等に関する事業に伴う事業費		5,073	4,846	227	1.36%
	収益事業等 計			8,690	9,127	△ 437	2.33%
法人会計	組織運営関係費(総会、理事会、会員増委員会 その他)		40,302	38,655	1,647	10.80%	
	その他一般管理費						
	法人会計 計			40,302	38,655	1,647	10.80%
経常費用計			372,809	374,314	△ 1,505	100.00%	

## 平成30年度予算 正味財産増減計算書

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

(単位：千円)

	公益目的 事業会計	収益事業等会計				法人会計	合計
	中計	施設貸与等	販売手数料等	会員福利厚生	中計	中計	
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
①特定資産運用益							
特定資産受取利息	5				0	1	6
②受取入会金							
受取入会金	16,200				0	16,200	32,400
③受取会費							
正会員受取会費	78,000				0	78,000	156,000
④事業収益							
イ) 研修会参加料							
教育研修会参加料	60,901				0		60,901
ロ) 事業受託料収入							
看護職員の資質向上研修事業受託料	14,234				0		14,234
ナースセンター事業受託料	30,160				0		30,160
ナースセンター会館管理受託料	5,840				0		5,840
訪問看護推進事業受託料	5,933				0		5,933
小児救急電話相談事業受託料	1,383				0		1,383
インターネット配信研修業務受託料	672				0		672
会員登録事務業務受託料	0		3,849		3,849		3,849
日本看護協会代議員選出業務受託料	0		158		158		158
ハ) 訪問看護・居宅介護支援事業収益							
訪問看護療養費収益	32,340				0		32,340
基本利用料収益	18,025				0		18,025
その他の利用料収益(訪看)	1,175				0		1,175
治験収益	0				0		0
居宅介護支援事業収益	7,562				0		7,562
その他の利用料収益(居宅)	0				0		0
雑収益(訪問・居宅)	696				0		696
二) その他事業収益							
受取手数料	1,373	1,200	807	90	2,097		3,470
雑収益	406				0		406
⑤受取補助金等							
日本看護協会助成金	9,300				0		9,300
⑥受取寄付金							
受取寄付金	1,300				0		1,300
⑦雑収益							
受取利息	1				0	11	12
雑収益	0			8	8		8
経常収益計	285,506	1,200	4,814	98	6,112	94,212	385,830

## 平成30年度予算 正味財産増減計算書

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

(単位：千円)

	公益目的 事業会計	収益事業等会計			法人会計		合計
	中計	施設貸与等	販売手数料等	会員福利厚生	中計	中計	
(2) 経常費用	事業費				事業費	管理費	
役員報酬	22,273	120	115	97	332	625	23,230
給料手当	123,768	74	1,837	646	2,557	13,389	139,714
賞与	15,824	9	227	80	316	1,599	17,739
通勤手当	6,532	6	96	34	136	764	7,432
役員退職慰勞引当金繰入額	4,189	28	28	33	89	402	4,680
退職給付費用	4,170	25	25	29	79	355	4,604
法定福利費	23,243	19	327	115	461	2,290	25,994
福利厚生費	769		8	3	11	357	1,137
旅費交通費	3,527				0	206	3,733
通信運搬費	7,779	1	13	135	149	3,010	10,938
減価償却費	13,800	275	34	51	360	1,246	15,406
消耗什器備品費	622	2	2	2	6	23	651
消耗品費	6,988	17	17	62	96	198	7,282
修繕費	1,015	1	1	3	5	102	1,122
印刷製本費	16,435			41	41	2,883	19,359
燃料費	386				0		386
光熱水料費	6,035	6	6	18	30	659	6,724
賃借料	6,215	128	2	4	134	2,224	8,573
保険料	1,547	1	2	4	7	154	1,708
諸謝金	25,598				0	332	25,930
租税公課	6,625	27	105	32	164	1,172	7,961
支払負担金	35				0	412	447
看護材料購入費	230				0		230
管理諸費	16,433	16	17	3,287	3,320	1,685	21,438
交際費	0				0	690	690
図書費	969				0	297	1,266
会議費	0				0	1,286	1,286
支払手数料	650				0	3,706	4,356
雑費 (その他の経費)	8,160			397	397	236	8,793
経常費用計	323,817	755	2,862	5,073	8,690	40,302	372,809
当期経常増減額	△ 38,311	445	1,952	△ 4,975	△ 2,578	53,910	13,021
2. 経常外増減の部							0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	1,900		△ 1,900	4,975	3,075	△ 4,975	0
当期一般正味財産増減額	△ 36,411	445	52	0	497	48,935	13,021
一般正味財産期首残高	189,987	6,243	3,881	0	10,124	521,223	721,334
一般正味財産期末残高	153,576	6,688	3,933	0	10,621	570,158	734,355
II 指定正味財産増減の部							
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	153,576	6,688	3,933	0	10,621	570,158	734,355

# 平成30年度 正味財産増減計算書 公益目的事業会計明細表(1)

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

(単位：千円)

	公益目的事業会計 公1						
	1 教育・研修等による 看護の質の向上 に関する事業		2 看護師等の労働環境等の改 善、就業促進等により、看 護師等の人材確保・定着に 関する事業			3 訪問看護の推進に 関する事業	
	資質向上	資質向上(県)	確保定着	ナースセンター	医療安全	訪看推進	訪看推進(県)
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
①特定資産運用益							
特定資産受取利息							
②受取入会金							
受取入会金							
③受取会費							
正会員受取会費							
④事業収益							
イ) 研修会参加料							
教育研修会参加料	57,090	3,811					
ロ) 事業受託料							
看護職員の資質向上研修事業受託料		14,234					
ナースセンター事業受託料				30,160			
ナースセンター会館管理受託料				5,840			
訪問看護推進事業受託料							5,933
小児救急電話相談事業受託料							
インターネット配信研修業務受託料	672						
会員登録事務業務受託料							
日本看護協会代議員選出業務受託料							
ハ) 訪問看護・居宅介護支援事業収益							
訪問看護療養費収益							
基本利用料収益							
その他の利用料収益(訪看)							
治験収益							
居宅介護支援事業収益							
その他の利用料収益(居宅)							
雑収益(訪問・居宅)							
二) その他事業収益							
受取手数料	463		910				
雑収益							
⑤受取補助金等							
日本看護協会助成金	9,200						
⑥受取寄附金							
受取寄附金							
⑦雑収益							
受取利息							
雑収益							
経常収益計	67,425	18,045	910	36,000	0	0	5,933

公益目的事業会計 公1

4 県民への健康・福祉の増進に関する事業		5 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業		7 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業			小計	6 介護保険法に基づく指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業（訪問看護ステーション）		小計	中計
保健知識	災害救護	職能	看護制度	地区部会	広報	共通		訪問看護	居宅介護		
						4	4	1		1	5
						16,200	16,200			0	16,200
						78,000	78,000			0	78,000
							60,901			0	60,901
							14,234			0	14,234
							30,160			0	30,160
							5,840			0	5,840
							5,933			0	5,933
1,383							1,383			0	1,383
							672			0	672
							0			0	0
							0			0	0
							0	32,340		32,340	32,340
							0	18,025		18,025	18,025
							0	1,175		1,175	1,175
							0			0	0
							0		7,562	7,562	7,562
							0			0	0
							0	696		696	696
							1,373			0	1,373
	406						406			0	406
100							9,300			0	9,300
						1,300	1,300			0	1,300
							0	1		1	1
							0			0	0
1,483	406	0	0	0	0	95,504	225,706	52,238	7,562	59,800	285,506

平成30年度 正味財産増減計算書 公益目的事業会計明細表(2)

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

(単位：千円)

	公益目的事業会計 公1						
	1 教育・研修等による 看護の質の向上 に関する事業		2 看護師等の労働環境等の改 善、就業促進等により、看 護師等の人材確保・定着に 関する事業			3 訪問看護の推進に 関する事業	
	資質向上	資質向上(県)	確保定着	ナースセンター	医療安全	訪看推進	訪看推進(県)
(2) 経常費用							
役員報酬	3,901	1,274	1,612	2,363	1,724	2,400	1,202
給料手当	19,776	9,243	8,518	17,807	4,041	2,751	2,530
賞与	2,906	1,457	980	2,527	840	656	546
通勤手当	1,185	533	594	1,043	349	227	178
役員退職慰労引当金繰入額	1,011	627	407	618	215	201	145
退職給付費用	890	552	359	544	190	177	128
法定福利費	3,752	1,809	1,559	3,541	847	770	577
福利厚生費	94	45	39	88	21	19	14
旅費交通費	54	293	300	276	54	80	49
通信運搬費	942	259	318	1,494	304	73	692
減価償却費	4,756	1,476	395		266	1,346	184
消耗什器備品費	318	42	27		15	13	10
消耗品費	1,637	590	357	797	164	137	178
修繕費	296	102	6	115	9	10	7
印刷製本費	3,844	919	1,012	2,439	471	6	483
燃料費							
光熱水料費	1,919	823	42	2,200	58	63	46
賃借料	1,526	230	20	163	1,364	15	189
保険料	449	154	10		13	15	51
諸謝金	14,300	5,050	252	2,020	685	104	949
租税公課	3,410	1,175	74	20	103	112	81
支払負担金							
看護材料購入費							
管理諸費	5,939	1,684	106	4,020	148	511	116
交際費							
図書費	850			48	10		20
会議費							
支払手数料							
雑費(その他の経費)	6,000	2	95	45	582	7	60
経常費用計	79,755	28,339	17,082	42,168	12,473	9,693	8,435
評価損益等調整前当期経常増減額	12,330	10,294	16,172	6,168	12,473	9,693	2,502
基本財産評価損益等							
特定資産評価損益等							
投資有価証券評価損益等							
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	12,330	10,294	16,172	6,168	12,473	9,693	2,502
2. 経常外増減の部							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額(収益事業より)							
当期一般正味財産増減額	12,330	10,294	16,172	6,168	12,473	9,693	2,502
一般正味財産期首残高							
一般正味財産期末残高							
指定正味財産増減の部							
受取補助金等							
一般正味財産への振替額							
当期指定正味財産増減額							
指定正味財産期首残高							
指定正味財産期末残高							
正味財産期末残高							



公益目的事業会計 公1

4 県民への健康・福祉の増進に関する事業		5 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業		7 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業			小計	6 介護保険法に基づく指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業（訪問看護ステーション）		小計	中計
保健知識	災害救護	職能	看護制度	地区部会	広報	共通		訪問看護	居宅介護		
2,061	1,126	544	639	1,089	1,162		21,097	824	352	1,176	22,273
5,837	2,565	2,263	372	5,645	2,597		83,945	33,783	6,040	39,823	123,768
1,418	429	212	46	578	271		12,866	2,915	43	2,958	15,824
385	201	452	40	249	231		5,667	649	216	865	6,532
328	122	89	28	145	164		4,100	56	33	89	4,189
288	107	78	25	128	144		3,610	531	29	560	4,170
1,308	462	347	135	577	500		16,184	6,220	839	7,059	23,243
33	12	9	3	14	12		403	330	36	366	769
194	31	100		1,820	30		3,281	219	27	246	3,527
274	172	250		1,020	894		6,692	1,032	55	1,087	7,779
375	765	131	66	188	286	2,558	12,792	723	285	1,008	13,800
22	8	6	2	10	12	137	622			0	622
1,012	100	51	17	415	129	1,167	6,751	226	11	237	6,988
11	6	6	5	7	6	93	679	299	37	336	1,015
242	648	200		780	5,280		16,324	99	12	111	16,435
							0	344	42	386	386
72	42	40	29	44	36	45	5,459	500	76	576	6,035
1,952	10	160	7	421	9	11	6,077	120	18	138	6,215
17	11	9	7	10	9	10	765	696	86	782	1,547
206	140	400		1,400	92		25,598			0	25,598
127	75	70	51	79	65	1,067	6,509	103	13	116	6,625
							0	31	4	35	35
							0	230		230	230
183	121	101	73	203	993	645	14,843	1,454	136	1,590	16,433
							0			0	0
21					20		969			0	969
							0			0	0
						650	650			0	650
285	319	100		440	200		8,135	22	3	25	8,160
16,651	7,472	5,618	1,545	15,262	13,142	6,383	264,018	51,406	8,393	59,799	323,817
△15,168	△7,066	△5,618	△1,545	△15,262	△13,142	89,121	△38,312	832	△831	1	△38,311
							0				0
							0				0
							0				0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
△15,168	△7,066	△5,618	△1,545	△15,262	△13,142	89,121	△38,312	832	△831	1	△38,311
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
						1,900	1,900			0	1,900
△15,168	△7,066	△5,618	△1,545	△15,262	△13,142	91,021	△36,412	832	△831	1	△36,411
							207,220			△17,233	189,987
							170,808			△17,232	153,576
											0
											0
							0			0	0
							0			0	0
							170,808			△17,232	153,576

## 平成30年度 資金調達・設備投資の見込みについて

### 1) 資金調達の見込みについて

借入れの予定		<input type="checkbox"/> あ り	<input checked="" type="checkbox"/> な し
事業番号	借入先	金 額	
		円	

### 2) 設備投資の見込みについて

設 備 投 資 の 予 定		<input checked="" type="checkbox"/> あ り	<input type="checkbox"/> な し
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の用途
公1	研修会データの ナースシップ対応	756,000	自己資金

# 理 事 会 報 告

会 長 星 野 恵 美 子

## 1. 理事会開催状況

回数	開催年月日	出席者		会場
		理事	監事	
第1回	平成29年 5月18日	16	2	千葉県看護会館 1階会議室
第2回	平成29年 6月20日	16	3	ホテルポートプラザちば2階ルビー
第3回	平成29年 7月19日	18	1	ホテルポートプラザちば2階パール
第4回	平成29年10月12日	17	3	千葉県看護会館 1階会議室
第5回	平成29年12月14日	15	3	千葉県看護会館 1階会議室
第6回	平成30年 3月15日	17	3	千葉県看護会館 1階会議室

## 2. 理事会協議事項

回数	開催月日	協議事項	協議内容
第1回	平成29年 5月18日	議事 第1号議案 平成28年度事業報告について 第2号議案 平成28年度決算報告及び監査報告について 第3号議案 平成29年度改選役員等候補者について 第4号議案 会員以外の者からの監事候補者の選出について 第5号議案 平成30年度日本看護協会代議員・予備代議員候補者の選出について 第6号議案 平成29年度千葉県看護協会会長表彰について 第7号議案 平成29年度地区部会役員の選任について 第8号議案 平成29年度常任委員会委員の一部交代について 第9号議案 千葉県看護協会の入会及び退会規程の改正について	<ul style="list-style-type: none"> <li>満場一致で承認</li> <li>満場一致で承認</li> <li>満場一致で承認</li> <li>満場一致で承認</li> <li>満場一致で承認</li> <li>満場一致で承認</li> <li>満場一致で承認</li> <li>満場一致で承認</li> <li>満場一致で承認</li> </ul>
第2回	平成29年 6月20日	議事 第1号議案 副会長、専務理事、職能理事(保健師、看護師職能領域Ⅰ・Ⅱ)の選定について 第2号議案 理事会の議長(会長)に事故があった場合の議長について 第3号議案 業務執行理事の選定及び業務分担について 第4号議案 役員の業務分担について 第5号議案 役員の報酬額の決定について 第6号議案 職能委員の選任について 第7号議案 常任委員会委員の一部交代について	<ul style="list-style-type: none"> <li>満場一致で承認</li> <li>満場一致で承認</li> <li>満場一致で承認</li> <li>満場一致で承認</li> <li>満場一致で承認</li> <li>満場一致で承認</li> <li>満場一致で承認</li> </ul>
第3回	平成29年 7月19日	議事 第1号議案 千葉県知事への要望について	<ul style="list-style-type: none"> <li>満場一致で承認</li> </ul>
第4回	平成29年 10月12日	議事 第1号議案 常任委員会の設置について 第2号議案 千葉県看護会館別館の一部貸付について 第3号議案 施設等会員代表者名簿の取扱いについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>満場一致で承認</li> <li>満場一致で承認</li> <li>満場一致で承認</li> </ul>

回数	開催月日	協議事項	協議内容
第5回	平成29年 12月14日	議事 第1号議案 平成29年度千葉県看護協会の収支予算の変更(補正予算)について 第2号議案 平成30年度千葉県看護協会の重点項目・重点事業(案)について 第3号議案 平成30年度生涯教育研修計画(案)について 協議事項 1 定時総会の実施内容の検討について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満場一致で承認</li> <li>・満場一致で承認</li> <li>・満場一致で承認</li> </ul>
第6回	平成30年 3月15日	議事 第1号議案 平成30年度事業計画(案)について 第2号議案 平成30年度予算、資金調達・設備投資の見込み(案)について 第3号議案 平成30年度における千葉県看護協会の運営(案)について 第4号議案 平成30年度定時総会の招集(案)について 報告事項 1 定時総会の実施内容の検討について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満場一致で承認</li> <li>・満場一致で承認</li> <li>・満場一致で承認</li> <li>・満場一致で承認</li> </ul>

#### 千葉県看護協会定時総会実施内容検討部会 検討結果 (平成30年3月15日実施)

##### 1 定時総会の実施内容について

###### (1) 変更内容

- ・定時総会閉会后、「職能集会」を実施する。(平成31年度から実施)
- ・「職能集会」の内容は、30年度の職能委員会において検討する。

###### (2) 変更理由

- ① 定時総会閉会后の各職能集会に看護職が多数参加し、活発な意見交換を行うことにより、一年間の職能活動の活性化が期待できる。
- ② 併せて、各職能集会に看護職が多数参加することにより総会参加者も増加し、総会運営の大幅な活性化が期待できる。

#### <定時総会実施内容> (変更案)

現 行		変 更 (31年度)	
時 間	項 目	時 間	項 目
9:00	受付	8:40	受付
9:30	開会 (会長表彰ほか)	9:10	開会 (会長表彰ほか)
10:20	議案審議	10:00	議案審議
11:20	選挙 (改選役員、推薦委員)	11:00	選挙 (改選役員、推薦委員)
11:50	休憩 (昼食) …50分	11:30	休憩 (昼食) …40分
12:40	報告事項 …80分 ・当年度事業計画・予算 ・前年度理事会・職能委員会 ・常任委員会等報告	12:10	報告事項 …70分 ・当年度事業計画・予算 ・前年度理事会・常任委員会等報告
14:00	選挙結果報告・承認	13:20	選挙結果報告・承認
14:15	新旧役員・委員紹介	13:35	新旧役員・委員紹介
14:30	講演 …90分	13:50	閉会、会場移動
16:00	閉会	14:00	職能集会 …120分
		16:00	職能集会終了

# 業務運営会議報告

専務理事 澤田 いつ子

## 1 業務運営会議の開催

業務運営会議の設置について理事会運営規則第22条では、「柔軟かつ円滑な協会運営に資することを目的として、理事会へ提出する重要又は臨時の必要がある議案を事前に協議又は審議するため、会長、副会長、専務理事及び常任理事によって構成される会議を置くことができる。」とされている。

29年度は4回の会議を開催した。

## 2 開催状況

回数	開催日	協議事項	協議内容
第1回	平成29年 5月9日	I 議題 1 平成28年度事業報告について 2 平成28年度決算報告及び監査報告について 3 平成29年度改選役員等候補者について 4 会員以外の者からの監事候補者の選出について 5 平成30年度日本看護協会代議員・予備代議員候補者の選出について 6 平成29年度千葉県看護協会会長表彰について 7 平成29年度地区部会役員の交代について 8 平成29年度常任委員会委員の一部交代について 9 千葉県看護協会の入会及び退会規程の改正について	・平成28年度事業報告、決算・監査報告等について協議した。  ・平成29年度改選役員等候補者について協議した。
第2回	7月10日	I 議題 1 千葉県知事への要望について	・理事・監事・施設等会員代表者などから提出された要望を取りまとめ、内容を整理した。
第3回	12月8日	I 議題 1 平成29年度千葉県看護協会の収支予算の変更（補正予算）について 2 平成30年度千葉県看護協会の重点項目・重点事業について 3 平成30年度生涯教育研修計画（案）について 4 定時総会の実施内容の検討について	・平成29年度補正予算について協議した。 ・平成30年度重点項目・重点事業の枠組みについて協議した。

第4回	平成30年 3月15日	I 議題 1 平成30年度事業計画（案）について 2 平成30年度予算、資金調達・設備投資の見込み（案）について 3 平成30年度における千葉県看護協会の運営（案）について 4 定時総会の実施内容の検討について	・平成30年度事業計画・予算について協議した。 ・平成31年度定時総会の実施内容について協議した。
-----	----------------	---	--



## 施設等会員代表者会報告

専務理事 澤田 いつ子

回数	開催日	場 所	内 容
第1回	平成29年 7月19日	ホテルポート プラザちば 2階ロイヤル	<p>表彰等            看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業            ・カンゴサウルス賞表彰            ・看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業修了証交付            看護体験記表彰・発表</p> <p>講 演            「平成30年度 診療報酬・介護報酬同時改定に向けて            ～ 看護管理者の挑戦 ～」            講師 千葉大学医学部附属病院            副病院長・病院長企画室長・特任教授            井上 貴裕 先生            座長 公益社団法人千葉県看護協会            常任理事 寺口 恵子</p> <p>役員紹介            議 事            平成29年度千葉県看護協会の事業計画について</p>
第2回	平成30年 2月15日	ホテルポート プラザちば 2階ロイヤル	<p>議 事            1 平成29年度事業の進捗状況について            ・看護職の定着確保動向調査の結果について            ・職能委員会活動報告            2 平成30年度重点項目・重点事業について            3 平成30年度会員手続き等について</p> <p>講 演            「平成30年度診療報酬・介護報酬同時改定に向けて            ～ 看護管理のポイント ～」            講師 公益社団法人日本看護協会            副会長 齋藤 訓子 先生            座長 公益社団法人千葉県看護協会            常任理事 寺口 恵子</p>

# 地区部会長会報告

専務理事 澤田 いつ子

## I 平成29年度 地区部会長会

回数	開催日	内容
第1回	平成29年 7月25日	I 議題 1 平成29年度千葉県看護協会の体制について (1) 千葉県看護協会定款及び関連諸規程について (2) 千葉県看護協会の組織・運営について ① 組織機構図・組織運営図について ② 役員の職務と担当職域について ③ 理事・監事事務分掌について ④ 事務局体制について (3) 事業計画・年間計画について 2 地区部会活動について (1) 地区部会活動の役割等について (2) 地区部会の円滑な実施(事務処理等の取扱い) (3) 平成28年度地区部会活動報告について (4) 平成29年度地区部会活動年間事業計画について 3 その他
第2回	平成30年 1月25日	I 議題 1 平成30年度 千葉県看護協会事業計画(重点項目・重点事業) について 2 地区部会に関わる事業の推進について 3 意見交換 II その他 協会からの連絡事項等

## II 平成29年度 地区部会会計に係る説明会

回数	開催日	内容
第1回	平成29年 4月26日	I 説明 1 地区部会事業の概要について 2 平成29年度地区部会に係る会計処理について 3 その他 II 質疑応答

---

---

# 職 能 委 員 会 報 告

---

---

## 保 健 師 職 能 委 員 会

委員長 川 名 千 春

### I 活動目標

- 1 保健師の活動強化と活動領域を超えた保健師のネットワークの推進
- 2 会員数を増やし、保健師職能の組織力のアップを図る

### II 活動内容

#### 1 保健師活動交流会

(1) 日 時：平成30年1月13日（土）午後1時～4時30分

(2) 会 場：千葉県看護会館 2階大研修室

(3) テーマ：「保健師のキャリアラダーについて～一人前の保健師とは？～」

(4) ねらい：保健師に係る研修のあり方等に関する検討会最終とりまとめとして「自治体保健師の人材育成体制構築の推進に向けて」が、平成28年3月31日に出され、この報告書の中に標準的なキャリアラダーが示された。自治体によっては、これを基に人材育成計画を作成しているところもあるが、どのように活用したらいいかに戸惑いを感じている保健師も多い。

そこで、本検討会の委員であった中板氏に、本報告書の意図を解説してもらい、保健師のキャリアラダーについて理解を深める。

(5) 参加者：42名

(6) 内 容

##### ① 講演「保健師のキャリアラダーについて～一人前の保健師とは？～」

講師 日本看護協会常任理事 中板 育美氏

- ・保健活動への社会的要請（疾病構造の変化。人口減少、コミュニティの希薄化・脆弱化を背景とした健康寿命の延伸、産み育てやすい社会、まちづくりなど）
- ・保健師による保健活動は、個人の健康と地域の健康に利益をもたらすことができる。
- ・保健師のアイデンティティ（専門性）の明確化・可視化とやりがい、達成感、保健師としての自信の獲得のためにキャリアラダーを活用すること
- ・各段階で、…ができるというレベルに達するように、OJTも人事異動もラダーに連動し、OFF-JTも自己研鑽もラダーに連動させる仕組みづくりを考えること
- ・"人を育てる"という発想から"人が育つ仕組み（環境）の構築に前進してほしい

##### ② ワールドカフェ形式による交流（意見交換・情報交換）

テーマ「キャリアラダーを進める上での戸惑い」

(7) アンケート結果

##### ① 回答数39（女性38、男性1）

所属	県	市町村	事業所	学校	その他
人数	11	27	0	0	1

年代	20代	30代	40代	50代	60代以上
人数	2	5	11	19	2
内容の理解度		理解できた		ほぼ理解できた	
人数		21		18	

(8) 評価

自治体保健師の人材育成をテーマにしたため、県及び市町村からの参加のみとなってしまったが、参加者からは、「キャリアラダーの内容やキャリアパスの考え方が理解できた」「活用しようと思う」と前向きな意見が聞かれ、「中板先生の話は、何回聞いてもいい」「刺激をもらった」「元気が出た」「日頃のモヤモヤがクリアになった」と中板パワーを注入して頂いた。

講師は、日本看護協会保健師職能委員長でもあり、国の各種委員会にも参画されているので、保健師の声を拾って施策に反映してもらえると期待を抱かせる講演だった。

ワールドカフェは、「いろいろな意見が聞けて参考になった」「楽しかった」と概ね好評で、時間が足りなかったという意見もあった。

2 保健師職能集会

(1) 日 時：平成30年2月24日（日）午後1時30分～4時30分

(2) 会 場：千葉県看護会館 2階大研修室

(3) テーマ：「保健師としての視点を広げよう」

(4) ねらい：新たな分野で活躍されている保健師の話聞き、業務意欲の向上を図ると共に、民間発想を学び、現在の職場での発想の転換による保健師活動の活性化を考えることができる。

(5) 参加者：27名

(6) 内 容

① 講演「保健師としての視点を広げよう ケアプロ社長 川添高志氏（保健師）に学ぶ！」

講師 株式会社 ケアプロ社長 川添高志氏

- ・ケアプロを立ち上げられた発想の展開・経緯の紹介
- ・設立にあたって様々な障壁（医療法との関係、関係団体の圧力など）をどのようにクリアしたか。
- ・保険者が行う特定健診・保健指導の将来の展望

② ワールドカフェ形式による交流（意見交換・情報交換）

テーマ「他分野の保健師活動について知ろう」

(7) アンケート結果

① 回答数26（女性25、男性1）

所属	県	市町村	事業所	学校	その他
人数	6	11	3	2	4

年代	20代	30代	40代	50代	60代以上
人数	2	4	6	13	1

内容の理解度	理解できた	ほぼ理解できた	無回答
人数	19	5	2

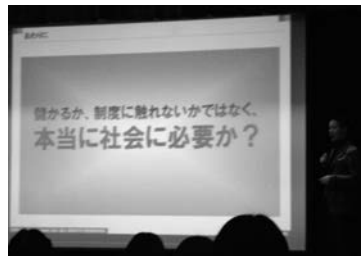
(8) 評価

講師のプロフィールから、参加者は、県及び市町村に加え、事業所や学校に所属する保健師の参加もあり、所属が「その他」と回答した4人は、病院又は病院内の健診センターに所属し特定健診・保健指導を担当していると考えられた。

講師は現在36歳だが、起業して10年経過し、当初のワンコイン健診（現セルフケアチェック）と訪問看護事業を展開している。講師は中学生の頃から、「健康」に関心を持つようになり、大学に進学する時点で起業することを考えていた。ケアプロとは？「革新的なヘルスケアサービスをプロデュースし、健康的な社会づくりに貢献する」と語り、ワンコイン健診開始時点での法規制の中で撤退を余儀なくされながらメディアを使い、政治家、経済界、医学界の応援団づくりをして開拓している。超高齢社会を迎え、24時間対応できる訪問看護のニーズに応えるため、若い訪問看護師が必要なため自社で育成プログラムを作成し「新卒・新人訪問看護師教育プログラム」を2016年12月に出版している。

現在は、経営者として良い人材を自社に留めることが第1と従業員とのコミュニケーションの取り方に様々な工夫をされていた。まさに保健師の視点をもって会社経営している。講師のようにはなれないが、社会を俯瞰し住民目線で事業展開する発想力は見習いたいと感じるインパクトのある内容だった。

参加者へのアンケートによれば、職能集会全体の評価としては、期待どおり又はほぼ期待どおりだったと回答していた。



### 3 保健師職能だよりの発行

平成29年秋号

平成30年春号

### 4 その他

#### ① 入会促進

保健師交流会及び保健師職能集会は、非会員も参加可能として案内し、参加した非会員には、日本看護協会が作成した職種別の加入案内を配布し入会を促した。

#### ② 千葉県看護協会事業への参加・協力

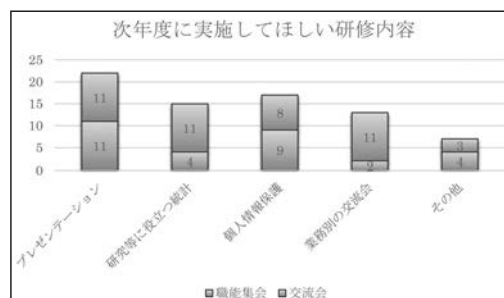
千葉県看護協会の理事会等に参加した。

また、看護協会で行う生涯教育と1つとして平成29年度新規事業である保健師実践能力向上研修の企画にあたり、職能委員会に意見具申があったので意見を述べた。

#### ③ 次年度実施を希望する研修についてのアンケート実施

保健師職能集会・交流会参加者を対象にアンケートを実施したところ、「プレゼンテーション研修」「保健師に必要な個人情報保護」「研究等に役立つ統計学」「業務別の交流会」の順であった。

そこで、保健師職能委員会として、平成29年度に新規事業として実施されたプレゼンテーション研修～一瞬で伝えるテレビ式プレゼンテーション～を次年度も千葉県看護協会の研修として実施することを要望した。



### Ⅲ 保健師職能委員会開催状況

回数	開催月日	議 題	内 容
第1回	平成29年 8月21日	1. 保健師職能委員会活動計画について 2. 看護協会の保健師研修について 3. 保健師職能集会・交流会について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護協会の組織と職能委員会の役割について（事務局説明）</li> <li>・今年度看護協会が実施する保健師を対象とする研修について（教育部説明）</li> <li>・活動計画について検討</li> <li>・保健師職能交流会・職能集会について検討</li> </ul>
第2回	9月11日	1. 保健師職能集会について 2. 看護協会の保健師研修について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職能集会の内容、講師、日程について検討</li> <li>・保健師を対象とした研修（新規事業）について検討</li> <li>・看護協会の研修とその他の研修との違いについて意見交換</li> </ul>
第3回	12月8日	1. 保健師職能集会・交流会について 2. 日本看護協会（職能委員会）との連携 3. 関係団体との情交換会の開催について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師職能集会・交流会の進め方と役割分担について検討</li> <li>・地区別職能委員長会の状況について（委員長報告）</li> <li>・関係団体との情報交換会を職能委員会活動として実施するかどうかについて検討（現任教育を検討する県主催の会議が開催されている状況もあり、今年度実施しないこととした）</li> </ul>
第4回	平成30年 2月24日	1. 保健師職能集会・交流会について 2. 次年度の職能委員会活動計画について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師活動交流会についての評価</li> <li>・保健師職能集会の準備、役割分担</li> <li>・次年度活動方針及び活動内容について検討</li> </ul>
	(11月中旬) (1月下旬)	(メール会議)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健師職能だよりの検討（2回） 保健師交流会案内、職能集会案内 看護協会の魅力発信など</li> </ul>

#### IV 保健師職能委員会活動計画

項目	内 容	
活動目的	1. 保健師の活動強化と活動領域を超えた保健師のネットワークの推進 2. 会員数を増やし、保健師職能の組織力のアップを図る	
委員会 開催予定	1. 保健師職能委員会 年6回 2. 三職能合同委員会 年1回	
検討事項 (活動内容)	1. 保健師の活動強化 (1) 保健師職能集会の開催 (2) 平成31年度保健師職能集会の企画 (3) 日本看護協会（保健師職能委員会）との連携 2. 活動領域を超えた保健師のネットワークの推進 (1) 活動交流会の開催 (2) 他の職能との交流会の開催 3. 会員数を増やし、保健師職能の組織力アップを図る (1) 保健師職能だよりの発行 (2) 加入案内チラシの配布 (3) 看護協会ホームページの活用	
職能集会	1. 前年度活動実績報告 2. 本年度活動方針について報告 3. 講演会又はシンポジウム等の開催 4. 意見交換・情報交換	
交流会	1. 活動領域を超えた保健師との交流会の開催 2. 講演会又はシンポジウム等の開催 3. ワールドカフェ	
三職能合 同委員会	1. 三職能共通の課題の検討	
その他	日本看護協会	1. 千葉県看護協会保健師職能委員会活動状況報告 2. 日本看護協会総会（全国保健師職能集会） 3. 都道府県保健師職能委員長会議 年1回 4. 地区別保健師職能委員長会 年1回
	印刷物	1. 保健師職能だより 2. 職能集会資料
	その他	1. 千葉県看護協会事業への参加・協力 2. 千葉県小児保健協会への参画



## 保健師職能だより 平成29年秋号

### 千葉県内保健師の皆さん！

平成29年度 千葉県看護協会保健師交流会を開催します！  
今回のテーマは、「保健師のキャリアラダーについて」です。  
「キャリアラダー」「キャリアパス」・・・「統括保健師」と並び、近年の保健師研修では盛んに研修テーマとなって語られることの多いキーワードですが、その意味をしっかりと自分の中に落とし込んで日々の活動に臨んでいるでしょうか？  
いまさら人には聞けない！？あんなこと、こんなことも含め、今回は、おなじみの日本看護協会常任理事の中板育美氏に講演いただきます。

#### 講演 「保健師のキャリアラダーについて」

＊最新の保健行政の情報提供に加え、一人前の保健師に求められる資質についても解説予定です

講師：日本看護協会常任理事 中板育美氏

講演後はワールドカフェ方式のグループワークで自由に情報交換ができる時間を設けます。みんなでお茶を飲みながらいろいろなことを語り合い、それぞれの成果を自分の言葉で持ち帰しましょう！

日時 平成30年1月13日(土)

午後1時～午後4時30分(受付12時30分～)

場所 千葉県看護協会 2階大研修室

対象 千葉県内在住・在勤の保健師(会員でない方の参加も大歓迎です！)

#### 速報～2月の職能集會のご案内～

##### 講演 「保健師としての視点を広げよう！」

＊ワンコイン検診で話題のケアプロ社長 川添氏(保健師)に起業の経緯やこれからの健診についての展望をお聴きする予定です

日時 平成30年2月24日(土)午後

場所 千葉県看護協会

対象 千葉県内在住・在勤の保健師(会員以外も参加できます)



～看護協会に入会して、専門職として、  
これからのあなたの保健師活動をより楽しく、  
もっとやりがいのあるものにしませんか～

＜日本看護協会が目指すネットワーク＞

- ＊分散配置している保健師をつなぐネットワーク
- ＊共に学び、資質向上のためのネットワーク
- ＊情報収集・伝達ができるネットワーク
- ＊会員増につなげ、組織強化を行うネットワーク
- ＊都道府県看護協会と活動方針を共有し、活動推進するネットワーク
- ＊政策提言を行うネットワーク
- ＊全国都道府県関係組織団体とのネットワーク

＜千葉県看護協会保健師職能委員会の活動内容＞

＜活動目標＞

- ＊保健師が専門性を発揮し、効果的な保健活動が推進できるよう、保健師一人ひとりの資質向上を図る
- ＊会員数を増やし、保健師職能の組織力アップを図る

＜活動内容＞

- ＊研修会・職能集会の開催
- ＊保健師だよりの発行



講演会や入会のお問い合わせはこちらへ

公益社団法人 千葉県看護協会  
〒261-0002 千葉市美浜区新港2-49-4  
電話 043-245-1744  
FAX 043-248-7246

URL: <http://www.cna.or.jp>

## 保健師職能だより 平成30年春号

### 平成29年度保健師職能委員会！

平成29年度 千葉県看護協会保健師職能委員会は、保健所保健師3人、市町村保健師2人、大学教授1人、企業の健康管理者1人の7人で構成されています。今年度の目標に向かって活動しています。

＜今年度の目標＞

- ①保健師の活動強化と活動領域を超えた保健師のネットワークの推進
- ②会員を増やし、保健師職能の組織力のアップを図る

#### 保健師職能交流会の様子！

保健師職能交流会では、いまさら人には聞けない！？あんなこと、こんなことも含め、おなじみの日本看護協会常任理事の中板育美氏に講演いただきました。

##### 講演 「保健師のキャリアラダーについて」

講演後はワールドカフェ方式のグループワークで自由に情報交換しました。

日時 平成30年1月13日(土)午後1時～午後4時30分

場所 千葉県看護協会 2階大研修室

参加者 42名(うち非会員12名と盛況でした。)

- ・キャリアラダーの内容や使い方について理解できた。
- ・キャリアパスの考え方が理解できた。活用しようと思う。
- ・中板先生の話は、何回聞いてもいい。刺激をもらった。元気が少し出た。
- ・日頃の業務でモヤモヤしていたことがたくさん明確になった。
- ・ワールドカフェの1クール15分では時間が足りなかった。
- ・ワールドカフェは色々な意見が聞けて参考になった。楽しかった。

参加者の声

#### ～次年度に向けて～

保健師職能交流会や職能集会でいただいた意見を基に、次年度に向けて保健師職能委員会活動を進めてまいります。

皆様も、看護協会の役割を広く非会員の皆様や入職される保健師にお知らせください。会員増で保健師職能のパワーアップを図りましょう。

### 看護協会で行った 保健師を対象とした研修について

#### 平成29年度新規事業

千葉県看護協会では、教育・研修等による看護の質的向上に関する事業として、平成29年度は63コースの研修を実施しています。多くの研修は、保・助・看3職能を対象としているので、保健師も参加可能です。

しかし、保健師からは「臨床看護に関する研修内容が多く、保健師が参加できる研修がない」という声が聞かれ、これが、保健師の看護協会加入率が低い原因の1つではないかという意見がありました。保健師職能の目標②に照らし、今年度新規事業である保健師を対象とした研修について、職能委員会に意見を求められ企画に参画しました。

【NO.35 保健師実践能力向上研修】

#### 一瞬で伝えるテレビ式プレゼンテーション

日時 平成29年12月2日(土)9:40～15:45(27名参加)

講師 イブプレゼン プレゼンコンシェルジュ 天野暢子氏  
民放テレビ局の経験を活かし、インパクトを与える見せ方を色々学びました。(好評により、対象を広げて次年度も実施予定です。)

#### さらなる高みを求めて看護協会の研修に参加してみませんか？

- ＜平成30年度研修計画(予定)＞ 一保健師関係ピックアップ
- 1 一瞬で伝えるテレビ式プレゼンテーション
  - 2 妊娠・出産の包括的支援～医療と地域の連携～
  - 3 医療ケア児を支援する地域包括ケアの推進



講演会や入会のお問い合わせはこちらへ

公益社団法人 千葉県看護協会  
〒261-0002 千葉市美浜区新港2-49-4  
電話 043-245-1744  
FAX 043-248-7246

HP アドレス <http://www.cna.or.jp>

# 助産師職能委員会

委員長 大澤 豊子

## I 活動目標

1. 県民の安全かつ安心な妊娠、出産、育児をめざし、助産師が、実践能力を高め、その専門性を発揮できるように支援する。
2. 会員相互の情報交換を図り、県内産科医療施設間の連携を強化する。

## II 活動の進捗状況

### 1. 平成29年度職能集會

日 時：平成29年10月31日（火）13:00～16:30

場 所：千葉県土地改良会館4階大会議室

テーマ：「妊産婦と母子に関する災害支援」

趣 旨：国内外において、地震や津波、大雨による災害が発生している状況がある。災害はいつ何処で起こるかわからない。そのため、日ごろから災害発生に備え、様々な準備が必要といえる。災害発生時、妊産婦や母子は災害弱者であり、特に支援が必要な対象となる。日本看護協会では、平成29年度の重点政策・重点事業として「災害発生時に対応する周産期における体制整備と情報発信」が挙げられている。そこで、今回の職能集會では、災害をテーマにし、日ごろ妊産婦と母子にかかわる助産師や看護師が、災害発生時に備え、何を準備すればよいかを考えることとした。

また、後半には「災害支援に向けた現在の取り組みと今後の課題」をテーマに、各施設での取り組みについて情報交換を行い、今後の課題についてグループ討議を行った。

内 容：講演「妊産婦と母子に関する災害支援」

講師：東京医科歯科大学医学部附属病院

産婦人科病棟副師長 高村ゆ希 氏

グループディスカッション

「災害支援に向けた現在の取り組みと今後の課題」

参加者：27名

<アンケート集計結果>

アンケート回収数 26名（回収率96.2%）

#### 1) 年齢

20代	30代	40代	50代	60代以上
9	7	6	3	1

#### 2) 勤務先の種類

総合病院(産科単科病棟)	総合病院(産科混合病棟)	総合病院産科外来	産科個人病院・診療所	助産師養成機関	その他
3	15	0	3	0	5

#### 3) 職位

師長	主任(副師長)	副主任	スタッフ	教員	その他
0	1	2	18	5	0

## 4) 経験年数

1～3年	4～6年	7～10年	11～15年	16年以上
5	7	7	3	4

## 5) 開催時期は適当か

はい	いいえ	無回答
24	1	1

## 6) 講演の満足度

満足	やや満足	やや不満	不満
23	3	0	0

## 7) グループディスカッションの満足度

満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
24	1	0	0	1

## 8) 全体を通して、今後の助産師活動に活かせるか

とても活かせる	やや活かせる	あまり活かさない	活かさない
21	5	0	0

## 9) 他施設との交流の場となったか

はい	いいえ	どちらでもない
26	0	0

## 〈総括〉

参加者のアンケートより、職位ではスタッフが約70%を占めており、臨床スタッフの災害支援に対する興味や意識の高さがうかがえた。また、講演の満足度は非常に高く、全員が「満足」あるいは「やや満足」であった。

グループディスカッションでは、それぞれの施設での取り組みが紹介され、参加者から他施設の取り組みを参考にしたいという意見が上がっていた。また、グループ発表では、講演やグループディスカッションから自施設の課題が見えてきたという発表もあり、今後に活かせる職能集会であったといえる。しかし、アンケートに「もう少しディスカッションの時間がほしかった」との記載もあったため、講演会との時間配分を検討していきたい。

## 2. 平成29年度産科管理者交流会

日 時：平成29年12月5日（火）10:00～16:00

場 所：千葉県看護協会 中研修室

テーマ：「助産師の必要人数算出について」「産後ケア事業について」

趣 旨：現在、日本における助産師の配置は「産婦人科又は産科においては、そのうちの適当数を助産師とするもの」とされ、分娩件数に必要な助産師の配置については明らかにされていない。一般病棟入院基本料では看護職員の配置基準に基づき配置されており、助産ケアを基準に考えられていないのが現状。今回は、すべての妊産褥婦と新生児に助産師のケアを提供する体制整備に向けての取り組みを産科管理者として理解し、自施設での人員配置の算出に役立てていただきたいと考えた。

平成29年度日本看護協会では、重点政策・重点事業の一つとして「包括的母子保健推進における看護機能の強化」が挙げられており、児童福祉法においても妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援の強化に向けて子育て世代包括支援センターの設置が努力義務化された。これにより周産期医療、虐待防止、産後ケア等の拠点を通じた対応強化が期待され、看護職間の連携の基、更なる推進が求め

られている。

今回、母子保健に関連する事業について、それぞれの立場から情報提供を受けることで、「助産師の役割と今後の課題」について考えた。

内 容：講 演「助産師の必要人数算出について」

講 師： 聖路加国際病院 看護師長 黒川 寿美江氏  
市原市子ども福祉子育てセンター所長 湯浅 智子氏  
瑞生助産院 院長 正林 文子氏  
千葉医療センター 副看護師長 小野 真由美氏

参加者：35名

<アンケート集計結果>

アンケート回収数 29名 (回収率82.9%)

1) 年齢

20代	30代	40代	50代	60代以上
0	3	12	13	1

2) 勤務先の種類

総合病院(産科単科)	総合病院(産婦人科)	総合病院産科外来	産科個人病院、診療所	助産師養成機関	その他	無回答
7	16	0	0	2	3	1

3) 職位

師長	主任(副師長)	副主任	スタッフ	教員	その他
19	7	0	2	2	0

4) 現在の職位の経験年数

1～3年	4～6年	7～10年	11～15年	16年以上
1	11	5	6	6

5) アドバンス助産師取得の有無

はい	いいえ
20	9

6) 更新希望の有無

はい	いいえ	無回答
12	3	5

7) 講演の満足度 今後の取得希望の有無

はい	いいえ	無回答
2	7	0

8) 開催時期は適当か

はい	いいえ	無回答
27	0	2

9) 講演・シンポジウムの満足度

満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
21	7	0	0	1

10) ディスカッションの満足度

満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
13	4	4	0	8

11) 全体を通して、今後の助産師活動に活かせるか

とても活かせる	やや活かせる	あまり活かせない	活かせない	無回答
17	9	1	0	2

12) 交流の場となったか

はい	いいえ	どちらでもない	無回答
29	0	0	0

アンケート結果より、講演内容に関して満足度は高かったが、ディスカッションの時間が短かったとの意見から、交流の場を多く求めていることがわかった。

総括：アンケート回収率は82.9%で、助産師職能委員会で開催する他の研修会よりも低い結果であった。これらは勤務の調整がつかず、限られた時間しか参加できないため、中途退席者が数名いたことが原因と考える。産科管理者交流会は毎年同時期に開催しているが、予定が立てやすいと肯定的な意見があった。回答したすべての参加者が開催時期は妥当と回答しており、適切だったと言える。講演会で助産師の必要人数に関する考え方を学んだ一方で、今後の要望では新人や助産師学生の教育はもちろんのこと、混合病棟での助産師のモチベーションアップ、一般病棟に所属する潜在助産師の活用があがっていた。昨今の助産師の働き方に関して、産科管理者としての課題が浮き彫りになる結果となった。

3. 平成29年度中堅助産師交流会

日時：平成30年1月30日（火）13:00～16:30

場所：千葉県看護協会 中研修室

テーマ：「助産師のキャリアアップと卒後の継続教育」

趣旨：平成29年度日本看護協会の重点政策・重点事業の一つとして「包括的母子保健推進における看護機能の強化」が挙げられた。また、国の目指す方向性として平成30年度の医療計画では、助産師の適正配置や院内助産システム・助産師出向システムの推進が明記されている。このことから、助産師には高度専門職者としての自覚を持って自己啓発し、自律した助産実践能力を発揮することが求められる。

中堅助産師は所属する施設で一通りの業務ができるようになる半面、今後の活動や進路について揺らぐ世代であり、昨年の交流会アンケートでも卒後の継続教育をテーマとしてほしいという意見が多く寄せられた。平成27年から「助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー/CLoCMiP）レベルⅢ認証制度」がスタートし、県内でも2年間で381名のアドバンス助産師が誕生したが、その後の各施設でのアドバンス助産師の育成、及び認証後の活動状況について検討が必要と考えた。

そこで、県内での助産師出向システム推進に携わり、助産師の管理・教育についてのご経験も豊富な講師を招き、助産師のキャリアアップと卒後の継続教育についての講演を交えた交流会を実施した。後半は、助産師に求められている役割をふまえたキャリアアップや卒後の継続教育への取り組みと課題について情報交換を行った。

内容：講演「助産師のキャリアアップと卒後の継続教育」

～千葉県の助産師出向支援導入事業推進に携わって～

講師：葵会柏看護専門学校 設置準備室 室長補佐

(元 千葉県看護協会 常任理事助産師出向支援導入事業コーディネーター)

橋野 恭子 先生

参加者数 21名



<アンケート集計結果>

アンケート回収数21名（回収率100%）

1) 年齢

20代	30代	40代	50代	60代以上
3	8	9	1	0

2) 勤務先の種類

総合病院(産科単科病棟)	総合病院(産科混合病棟)	総合病院産科外来	産科個人病院・診療所	助産師養成機関	その他
5	11	2	1	0	2

3) 職位

師長	主任(副師長)	副主任	スタッフ	教員	その他
0	3	0	18	0	0

4) 経験年数

1～3年	4～6年	7～10年	11～15年	16年以上
0	5	6	3	7

5) 開催時期は適当か

はい	いいえ	無回答
16	4	1

6) グループディスカッションの満足度

満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
15	6	0	0	0

7) 講演の満足度

とても活かせる	やや活かせる	あまり活かせない	活かせない
7	13	0	1

助産師職能委員会に対する要望

1) 今後職能集会や交流会で取り上げてほしいテーマ

- ・ハイリスク妊婦のケア
- ・母子包括ケア ・新人助産師教育(2) ・助産師学生教育 ・助産師看護師や多職種の協働
- ・メンタルヘルス ・院内助産 ・出向システム ・母乳ケア ・災害看護 ・虐待予防
- ・混合病棟での助産師のモチベーションアップ ・一般病棟に所属する潜在助産師の活用
- ・多国籍化している分娩に対する対応

2) その他要望

- ・職能集会の開催を継続すること
- ・職能として団結して行くと良い
- ・ディスカッションの時間を増やして欲しい
- ・交流会の内容をホームページに載せてほしい
- ・出向についてはこれからも継続してほしい

<総括>

講師の橋野先生から助産師の卒後継続教育のあり方や、助産師出向支援事業の概要を伺った。その後グループディスカッションを行い、参加者各自が直面している課題を自分事として捉え、有意義な情報交換となっ

た。参加者は21名と少なめであったが、その分、じっくりと話し合うことができ、グループディスカッションの満足度が高かった。

今後、取り上げてほしいテーマとして、地域連携や多国籍化しているケース等への対応、メンタルヘルスなど、従来になかった要望が挙がっていることをふまえ、次年度の交流会の企画に生かしていく必要がある。

交流会の内容をホームページに送ってほしいという要望があったが、諸事情で実現に至っていないことや、看護協会未加入者から加入に前向きな感想が得られたことから、「助産師だより」の活用・充実も考えていきたい。交流会のより詳細な内容を掲載するなどの工夫によって、中堅助産師のモチベーションを維持増進し、協会への新規加入・継続やアドバンス助産師認証申請への挑戦などキャリアアップへの意識を高める効果が期待できるかもしれない。

#### 4. 「国際助産師の日」企画・開催

日 時：平成29年5月13日（土）13：00～16：00

会 場：ユニモちはら台

内 容：今年度の『看護の日』のテーマに合わせ、『地域で輪となりつなげる看護』のテーマのもと、市原地区部会と合同で開催した。産科施設紹介に加えて、沐浴体験、マタニティ体験、思春期教育グッズの紹介（子宮モデル・胎児モデル）、助産師活動の紹介、進路相談を行った。

助産師相談	助産進路相談	妊婦体験	沐浴	ベビー抱っこ	胎児モデル展示	参加延べ人数
26	5	48	41	77	266	462



#### 5. 助産師職能委員会開催状況

7回実施した。

#### 6. 助産師だよりの発行

夏号・冬号の2回発行。内容は研修の年間計画や本協会からの情報など会員への情報提供を行っている。

#### 7. アドバンス助産師活動状況の把握を目的としたアンケート調査

千葉県助産師を対象として、アドバンス助産師の活動状況と今後の更新、新規申請に向けた準備について調査を行った。

#### 8. 千葉県看護協会事業への参加・協力

通常総会、役員会、理事会、施設代表者への出席。

#### 9. 平成29年度千葉県看護協会研修計画への参加及び日本看護協会事業への参加・協力

新人助産師研修会講師、日本看護協会事業への参加、都道府県助産師職能委員長会議への出席、地区別法人会・都道府県助産師職能委員長会への出席。



### Ⅲ. 平成29年度助産師職能委員会開催状況

回数	開催月日	議 題	内 容
第1回	平成29年 7月4日	第1回 職能委員会 ①職能委員会活動についてのオリエンテーション ②年間活動計画立案	①事務局より。 ②年間計画、交流会：テーマ担当者、日程、プログラムの決定。
第2回	8月4日	第2回 職能委員会 全日 ①助産師職能集会準備 ②管理者交流会準備 ③中堅助産師交流会企画 ④助産師だより作成	①役割分担を決定。趣旨書、プログラム、アンケート作成。 ②テーマ助産師必要人数と産後ケア、役割分担。 ③テーマ助産師のキャリア支援 ④助産師だより夏号の作成。
第3回	10月31日	第3回 職能委員会 AM ①職能集会最終確認 ②管理者交流会準備 ③中堅助産師交流会企画	①内容と役割確認。 ②趣旨書、プログラム、アンケートの作成。 ③役割分担、趣旨書の作成。
第4回	11月21日	第4回 職能委員会 全日 ①職能集会評価 ②中間評価まとめ ③管理者交流会についての準備最終確認 ④中堅助産師交流会について準備 ⑤助産師だより作成	①職能集会アンケート結果の報告。 ②別紙参照。 ③役割分担と内容の最終確認。 ④趣旨書、プログラムの確認。
第5回	1月30日	第5回 職能委員会 全日 ①国際助産師の日イベント計画 ②新人助産師研修「リフレクション」について ③産科管理者交流会の評価 ④看護研究・研究計画書の内容検討	①昨年同様、市原地区部会で実施決定 ②教育部と話し合い、今後の企画について意見交換。次年度は助産師職能委員が主体となり開催する。 ③アンケート結果の分析。 ④澤田専務に研究趣旨を説明、意見を頂いた。
第6回	3月23日	第6回 職能委員会 全日 ①委員長報告 ②H29活動報告作成 ③H30総会資料作成 ④国際助産師の日イベント準備	①全国職能委員長会報告 ②・③別紙参照 ④開催内容、役割担当決定
第7回	4月27日	第7回 職能委員会 全日 ①国際助産師の日打ち合わせ ③アンケート調査結果・まとめ・抄録作成	

IV. 平成30年度助産師職能委員会 活動計画

項 目	内 容
活 動 目 標	1. 県民の安全かつ安心な妊娠、出産、育児をめざし、助産師が、実践能力を高め、その専門性を発揮できるように支援する。 2. 会員相互の情報交換を図り、県内助産師間の連携を強化する。
委員会開催予定	1. 助産師職能委員会 年6回程度 2. 三職能合同委員会 年2回
検 討 事 項	1. 実践能力の向上 1) 標準化 ①助産師ラダーの推進 2) 質の向上 ①助産師ラダーの普及、推進 ②アドバンス助産師の活動状況アンケート調査の分析・まとめ ③助産師出向システム構築の支援 ④教育部への研修に関する提案 2. 専門性の発揮 1) ラダー推進（初回申請・更新）のための研修の提案・提言 2) 子育て世代を対象にした地域包括ケアの推進 3) 周産期メンタルヘルスに関する情報提供 3. 県内の助産師職能の組織力の強化 1) キャリア及び施設の特性に応じた助産師の情報交換と交流の推進 2) ネットワークの構築 3) 助産師だよりの発行 4. 国際助産師の日の企画・運営
交 流 会 等	1. 産科管理者交流会の企画・開催 2. 新人助産師交流会（新人助産師研修会）への参画 3. 中堅助産師交流会の企画・開催
職能集会の持ち方	1. 前年度活動報告 2. 本年度活動計画 3. 講演会またはシンポジウム 4. 意見交換
三職能合同委員会	1. 三職能共通課題の検討 2. 職能集会の開催 3. 職能集会資料の作成
そ の 他	日本看護協会 1. 千葉県看護協会助産師職能委員会活動状況報告 2. 日本看護協会総会・全国助産師職能委員会活動に協力 3. 都道府県職能委員長会議 年2回 4. 地区別法人会・都道府県助産師職能委員長会 年1回
	印刷物等 1. 職能集会資料 2. 助産師だより
	そ の 他 1. 千葉県小児保健協会総会への参画 2. 千葉県看護協会事業への参加・協力



千葉県看護協会  
助産師職能だより  
平成29年度 夏号



平成29年度 助産師職能委員会

<活動目標>

1. 県民の安全かつ安心な妊娠・出産・育児をめざし、助産師が実践能力を高め、その専門性を発揮できるよう支援する。(助産師ラダーの普及・推進、アドバンス助産師の活動状況の把握、助産師出向システム構築の支援)
2. 会員相互の情報交換を図り、県内助産師間の連携を強化する。  
(職能集会、産科管理者交流会、中堅助産師交流会の開催)

<平成29年度 職能集会・交流会開催予定>

1. 助産師職能集会 平成29年10月31日(火) 13:00-16:30  
場 所 千葉県ナースセンター3階研修室  
テーマ 妊産婦と母子に関する災害支援  
講 師 東京医科歯科大学医学部附属病院産婦人科病棟 副部長 高村ゆ希 先生
2. 産科管理者交流会 平成29年12月5日(火) 10:00-16:00 予定  
テーマ:「助産師の必要人数算出について」「産後ケア事業について」
3. 中堅助産師交流会 平成30年1月30日(火) 13:00-16:30 予定  
テーマ:「助産師の卒後教育とキャリアアップ」

\*講師やプログラムの詳細につきましては、別途お知らせいたします。

<大盛況!!! 国際助産師の日イベント>

平成29年5月13日に「看護の日」市原地区部会イベントと同時開催で企画・開催しました。

会場: ユニモちはら台

内容: 産科施設紹介・助産師活動の紹介

- 沐浴体験 (参加人数 41名)
- マタニティ体験 (48名)
- 子宮モデル、胎児モデルの展示 (266名)
- 産路相談 (5名)

\*母親と子供達が出産時の抱っこを話し合うなど、微笑ましい光景が見られました。  
次年度も、同じ会場で 平成30年5月12日(土)に開催予定です。



委員紹介

- 委員長 大澤豊子 (帝京平成大学)
- 副委員長 根岸暢子 (千葉西総合病院)
- 委員 小野真由美 (千葉医療センター)
- 久保幸代 (亀田医療大学)
- 宮真由美 (千葉市立海浜病院)
- 田中ひろ子 (船橋中央病院)
- 溝口美穂 (東千葉メディカルセンター)

2016年 助産師能力診断試験

(クリニカルラダー(CLCMP))合格状況  
全国で5,440名のアドバンス助産師が新たに誕生しました。(うち千葉県は197名)  
就業者数に占める割合:14.8%(全国31位)  
\*2018年から再開される新規認定申請では承認要件の要件などが変更となっておりますので注意しましょう。  
(日本助産師会編纂発行 機関誌「アドバンス助産師」より引用)



千葉県看護協会  
助産師職能だより  
平成29年度 冬号



平成29年度助産師職能委員会

<活動目標>

1. 県民の安全かつ安心な妊娠・出産・育児をめざし、助産師が実践能力を高めその専門性を発揮できるよう支援する。(助産師ラダーの普及・推進、アドバンス助産師の活動状況の把握、助産師出向システム構築の支援)
2. 会員相互の情報交換を図り、県内助産師間の連携を強化する。  
(職能集会、産科管理者交流会、中堅助産師交流会の開催)

平成29年度 助産師職能集会

平成29年10月31日(火)に開催しました。

各施設より34名参加されました。

内容: 妊産婦と母子に関する災害支援

講師: 東京医科歯科大学医学部附属病院産婦人科病棟  
副部長 高村 ゆ希氏

\*「災害対策支援の具体的な内容を知ることができ、勉強になった。」  
「自分でできる行動について考える場となった。」など、参加者の満足度は100%でした。



平成29年度 助産師職能委員会紹介

- 委員長 大澤豊子 (帝京平成大学)
- 副委員長 根岸暢子 (千葉西総合病院)
- 委員 久保幸代 (亀田医療大学)
- 小野真由美 (千葉医療センター)
- 宮真由美 (千葉市立海浜病院)
- 田中ひろ子 (船橋中央病院)
- 溝口美穂 (千葉東メディカルセンター)

中堅助産師交流会のお知らせ

平成29年度日本看護協会の重点政策・重点事業の一つとして「包括的母子保健推進における看護機能の強化」が挙げられました。平成30年度の医療計画では、助産師の適正配置や院内助産システムの推進が明記されます。このことから助産師には高度専門職者としての自覚を持って自己啓発し、自立した助産実践能力を発揮することが求められています。

そこで、今回は助産師のキャリアアップと卒後の継続教育についての講演を交えた交流会を企画しました。

是非、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

日時: 平成30年1月30日(火) 13:00~16:30

場所: 千葉県看護協会館

テーマ: 助産師のキャリアアップと卒後の継続教育

講師: 英会柏看護専門学校 設置準備室 室長補佐  
元 千葉県看護協会 常任理事 助産師出向支援導入事業コーディネーター

橋野 恭子氏



\*申し込みの方法とプログラムの詳細につきましては、各施設にご案内を送付いたします。

# 看護師職能Ⅰ（病院領域）委員会

委員長 高井孝子

## I 活動目標

1. 看護師が専門性を発揮しながらやりがいを持って働き続けることができるよう、看護師職能Ⅰ（病院領域）が抱える課題に取り組む。
2. 看護の質向上を図るために、准看護師のスキルアップと進学を支援する。
3. 社会医療制度の動向を踏まえ、看護師職能Ⅰ（病院領域）の看護の役割を考え、質向上に向けて検討する。

## II 活動内容

### 1. 看護師職能Ⅰ（病院領域）集会

(1) 日 時 平成29年11月18日（土）11：00～15：45

(2) 会 場 千葉中央看護専門学校

(3) テーマ 「変化する医療体制の中での看護管理者の役割～看護管理者が輝いて働くために～」

(4) ねらい

- ① 看護師職能委員会の活動を知り認識を深める。
- ② 変化する医療体制の中で看護管理者に求められている役割について考える。

(5) 参加者数 96名

(6) 内 容

#### ① 平成28年度活動状況報告及び平成29年度活動計画

平成28年度実施した看護師職能集会、看護師交流会、准看護師交流会について、各担当委員より活動状況を報告した。

平成29年度活動計画は、地域包括ケアにおける病院領域の看護の役割を明確にし、活動の可視化に向けた期的計画の2年目として、看護師交流会で「在宅での看取り」「病院での看取り」に関する現状と課題について話し合う機会を計画した。次年度は臨床と地域との連携強化を目的に領域Ⅱとの合同開催につなげていく予定である。准看護師の教育ニーズに対しては、昨年度に引き続き交流会での進学支援を行い、昨年度の参加者を対象に進学の実態調査を行うこととしている。

#### ② 講 演

講師 公益社団法人日本看護協会看護師職能Ⅰ 門間典子副委員長

日本看護協会看護師職能委員会Ⅰ病院領域の活動として、変化する医療体制に応じた看護師長の役割に関する情報収集を実施し、看護師長が担うべき役割及び必要な支援・教育に関する課題発見・意見集約を行った結果について報告及び説明がされた。現場の一人一人の看護職が専門性を発揮し続けるためには、看護師長の役割が重要である。看護師長の役割は、病院の規模や機能、地域の特色などにより各施設で違いがあるが、看護管理者が看護師長の役割を重要度と委譲の可否の程度から整理することが重要である。それらを踏まえ、看護師長への支援について講師が看護管理者として実際に行ってきた具体的な内容を交えて教えていただいた。

管理者は経験により成長していくのであり、特に強調されていたのは動機付けの重要性で、丁寧な説明と管理者育成の可視化により、看護師長自身が考えて意味づけを行い理解し、自立して活動できるようになることが看護師長を輝かせるということであった。講演後、職位ごとにグループワークを実施し内容や課題について共有したことで、より具体的な取り組みへの動機づけになった。

(7) アンケート結果 参加者数96名、アンケート回収数89 (回収率93%)。

<参加者の背景>

★ 施設：病院88 (99%) 診療所1 (1%)

★ 病床数：1～19床1 (1%) 20～99床8 (9%) 100～299床51 (57%)  
300～499床14 (16%) 500以上15 (17%)

★ 職種：看護師89 (100%)

★ 職位：看護部長 (看護局長) 12 (14%) 副看護部長 (副看護局長) 10 (11%)  
看護師長 (科長) 46 (52%) 副看護師長 (係長・主任) 19 (21%) 看護スタッフ2 (2%)

<参加者の認識>

★ 看護師職能委員会の活動について知ることができたか：

はい86 (97%) いいえ1 (1%) 未回答2 (2%)

★ 講演内容は興味が持てたか：

はい86 (97%) いいえ2 (2%) 未回答1 (1%)

★ 看護管理者の役割について考えることができたか：

はい87 (98%) いいえ1 (1%) 未回答1 (1%)

★ 開催時間は適当であったか：

はい68 (76%) いいえ15 (17%) 未回答6 (7%)

(8) 評価

医療提供体制の変化を受けて、看護師長に求められる役割が年々増加し、一人で所掌できる範囲・量ともに超えているとの結果が、日本看護協会の調査結果から示されている。看護師長が役割を發揮しながら、生き生きと働き続けるために必要な支援や教育体制の整備が課題であることからこのテーマで講演を実施した。参加者は看護師長以上の参加者が多く、講演は実践を踏まえた具体的な方策が盛り込まれ、すぐに実践に活用できる内容であった。また、講演後に講師を交えた職位ごとのグループワークを実施し、それぞれの職位に応じた情報共有や支援方法などについて検討することでより動機づけられ満足度も高かった。看護管理者の役割を考える機会になり、研修のねらいは概ね達成できたと考える。

## 2. 看護師交流会

(1) 日時 平成29年2月17日 (土) 13:00～16:00

(2) 会場 千葉県看護会館 大研修室

(3) ねらい

① 看取りの意思決定支援

② 地域包括ケアにおける病院看護師の役割を明確にする

(4) テーマ 「在宅での看取りの意思決定支援 ～病院看護師の役割～」

(5) 参加者数 58名

(6) 内容

① 講演

○ 桐和会東京さくら病院 竹内美佐子氏

高齢者の健康に関する意識調査結果や、内閣府調査、病院看護師や介護職への調査結果などのデータおよび、ご自身の豊富なご経験などをもとに広い視野からお話しいただいた。

看取りの期とは「頑張る治療」から「安楽を優先するケア」へと移行する時期である。また、患者の家族は「生命への希望」と「安楽」という二つの思いの間を揺れ動いている。看護師も「いつまで頑張



る治療を続けるのか」「どこから看取りなのか」葛藤し同じように揺れ動いている。尊厳とは「自分らしくあり、一人一人が大切にされること」と考えており、その人らしい最期を迎えられるようにケアするのは、一般病棟でも療養型病棟でも緩和ケア病棟でも変わらない。

介護職にとって最初は「死」は怖いものであり、抵抗感がある。高齢施設の看護師は、介護職に対して看取りに関する知識・技術の向上を期待されているのではないかと。看取りは、看護師がキーパーソンである。人生の最期に出会えてよかったと思ってもらえる看護師でありたい、と述べられた。

○訪問看護ステーションわたぼうし 訪問看護師 夏目昌信氏

訪問看護ステーションでの実際の事例を紹介しながらお話しいただいた。

意思決定に関して押さえておかなければならないのは、本人：表面の言葉だけでなく本心はどうか、周囲の人々：どれだけの支援が可能か、取り巻く環境：経済的な面など本人家族の希望をかなえる生活環境があるか、支援者：医療者の覚悟や親類知人などインフォーマルなサービスの活用も必要と、それぞれの立場での考え方を示された。

高齢者の独居が増える中、独居でも自宅へ帰ることはできる。訪問看護や外来看護は、「次にお会いするまでの不安を最小限にする関わり」を、病棟では、「退院後の生活をできるだけはっきりと想像できるような説明をすること」が必要で役割でもあるとのことであった。また、バックベッドの体制があると、療養者も家族も訪問看護師も安心できると、より具体的な実践内容を交えてお話しいただいた。

○講演後に会場を交えて意見交換を実施し、その後グループワークを実施した。グループ内で看取りの現状や考え方について意見交換した。

(7) アンケート結果

<参加者の背景> 参加者数：58名 アンケート回収数：56名（回収率：97%）

★ 所属施設：病院49名 診療所3名 その他3名 無回答1名

★ 職 位：看護部長（看護局長）2名 副看護部長（副看護局長）2名  
看護師長（科長）11名 副看護師長（係長・主任）7名  
看護スタッフ30名 准看護師2名 無回答2名

<参加者の認識>

★ シンポジウムについて

・在宅での看取りの意思決定支援について理解を深める機会になりましたか。

はい：56名（100%） いいえ0名（0%）

・シンポジウムの内容は看護実践に活用できると思いますか。

はい：56名（100%） いいえ0名（0%）

★ 看護師交流会の開催時期について

・看護師交流会の開催時期について適当でしたか。

はい：54名（96.4%） いいえ2名（3.6%）

(8) 評価

講演後にシンポジウム形式で意見交換を行った。現場で困っていることに対する質問があり、参加者で共有することができた。

グループワークでは、設置主体や規模など異なる背景の参加者5~6人で意見交換を行った。自施設における看取りの現状や、看護師に期待されていることなどについて意見交換をした。今後自分たちは何が出来かなどを活発にディスカッションできており、有意義なものとなった。

終了後アンケートの結果から、全ての参加者が「在宅での看取りの意思決定支援について理解を深める機会となった」「シンポジウムの内容は看護実践に活用できる」と回答していることから、目的を達

成できた研修であったと考える。開催時期については、平日の開催を希望する意見も少数あり検討していく必要がある。

### 3. 准看護師交流会

(1) 日時 平成30年3月3日 (土) 13:00~16:30

(2) 会場 千葉県看護会館

(3) テーマ 「准看護師のキャリアアップに向けて」

(4) ねらい

① 日常の看護技術についてスキルアップできる機会とする。

② 進学支援に必要な情報を提供し、進学定見や交流の場から進学に対して前向きな考えを持つことができる。

(5) 参加者数：49名

(6) 内容

① 講演 「認知症ケアについて学ぼう」

講師 千葉県立佐原病院 認知症看護認定看護師 神澤由佳氏

認知症患者の増加に伴い、看護師が日常生活援助を行っていく上で正しい知識を持って患者に関わっていくことが、重要である。そこで、①認知症の特徴を知る②認知症の認知機能障害、行動・心理症状を知る③認知症ケアの視点を学ぶ④優しさを持って帰ることができる、をねらいに講演を実施した。

認知症の症状について理解し、患者が持つ不安を軽減し安心感を与えるよう接することが重要であり、ポイントとして、患者が出来ることを奪わず、その人がその人らしく生活していくことが出来るよう、優しさをもって向き合うことを具体的に話された。

② 進学支援情報提供：学校教員などからの説明

千葉県野田看護専門学校第二看護学科 及川理恵氏

東京衛生学園専門学校看護学科通信制 秋山千草氏

放送大学学園学務部教育課 鈴木賢一氏

③ 進学体験者による体験談

東葛クリニック病院 看護師 内田ひとみ氏 (通信教育体験者)

東葛クリニック病院 看護師 岩崎真紀子氏 (通信教育体験者)

社会医療法人正朋会 穴倉病院 千葉県看護協会理事 山口規予氏

進学に対して、仕事と勉強の両立が自分のできるのかという不安が大きかったが、職場や家族の理解と協力、勉強のための時間を工夫して有効に作るなど、大変ではあったが、充実した2年間を過ごし国家試験に合格できた。看護師資格を取得したことで、今まで行っていた看護ケアの根拠がわかり、看護することの楽しみや仕事の幅も広がりを実感しながら日々を送っているなどの報告があった。山口理事からは、准看護師としての長い経験を踏まえ、一人でも多くの参加者が、勇気をもって進学へのハードルを越えていけるようにエールを送っていただいた。

④ 交流会 「進学に対する思い・私のキャリア構築」

グループに分かれ、自身の仕事、進学に対する思いなど情報を交換し、交流を深めた。

(7) アンケート結果および評価 参加者数49名 アンケート回収47 (回収率 96%)

講演会については、全員が参考になったと回答し、認知症の体験から認知症患者が実際に考えていること、困っていることを知ることができ、認知症患者の訴えや行動に対応していけるといったなどの意見があった。



進学支援は42名が参考になった、体験談は40名が参考になった、グループワークは39名が良かったと回答した。特に、体験者の声を聞いて現実的な勉強法が知ることができたことや、准看護師同士の気持ちで語り合えて良かったなど交流を図ることで情報交換の場となった。終了後も個別に相談があるなど関心が高く開催の意義は高いと評価できる。今後の企画の参考になる意見もあり、継続開催への動機づけになった。

#### 4. 平成28年度 准看護師交流会参加者 追跡アンケート結果

<アンケート配布 55名 回答 39名 回収率 70.9% >

##### (1) 看護師への進学について考えましたか

- 1) はい 32名
- 2) いいえ 7名

##### (2) 質問1で「はい」と答えた方、現在の状況を教えてください

- 1) 進学のための準備をしている 4名
- 2) 受験をした 7名
- 3) 進学を考えたが、保留となっている 21名
- 4) その他 6名

##### (3) 質問1で「いいえ」と答えた方、その理由を教えてください

- ・年齢が若くないため ・体力的にも年齢的にも無理としました。
- ・育児でなかなか勉強する時間がない ・進学のために生活環境を変えるゆとりがない ・今の生活状態、無理と思わず希望していません
- ・進学したい気持ちはあるが、現実問題無理と判断したため
- ・一度挫折（仕事、家底の両立難しく）している為、考えていない

##### (4) 今後もこのような機会があれば、進学する准看護師は増えると思いますか

- 1) はい 30名
- 2) いいえ 7名 (内質問1：はい 4名 いいえ 3名)
- 3) どちらでもない 1名
- 4) 無回答 1名

##### 「はい」理由

体験者や学校関係者の話を聞くことで、進学の方法や学費など具体的な情報を得ることができ、進学への動機づけになった。他施設の准看護師と情報共有し、進学に向けた意見交換をすることで、一人では行動できなかったことも可能にする機会になった。進学したくてもどうしたらよいかわからない人に情報提供の場となる、など多くの肯定的な意見と進学を検討するきっかけになったという意見があった。

##### 「いいえ」理由

進学にあたっては生活環境の変化や生活への影響への不安、金銭的な問題などが考えられるなどの意見があった。

##### (まとめ)

准看護師交流会参加後、7名が受験し、4名が受験の準備をしていることから、交流会が進学への動機づけの機会になっている。また、21名が進学を考えたが保留になっているとの回答から、今後も進学者は増えることが予測され、交流会開催の意義は高く継続開催が望ましいと考える。平成29年度の准看護師交流会参加者についても追跡調査を実施する予定である。

### Ⅲ 委員会開催状況

回数	開催月日	議 題	内 容
第1回	平成29年 8月29日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成29年度職能委員会活動計画及び運営について</li> <li>2. 役割分担</li> <li>3. 開催予定</li> <li>4. その他</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度活動計画作成</li> <li>・委員の役割・担当</li> <li>・職能集会の企画検討</li> <li>・看護師交流会の企画検討</li> <li>・職能Ⅱとの合同開催計画</li> <li>・准看護師交流会の企画検討</li> <li>・全国職能委員会報告</li> </ul>
第2回	9月21日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職能集会企画</li> <li>2. 看護師交流会企画検討</li> <li>3. 准看護師交流会の企画検討</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職能集会企画運営検討</li> <li>・講演のテーマ及び講師決定</li> <li>・職能Ⅱとの合同看護師交流会から単独開催に変更し内容の検討</li> <li>・准看護師交流会の講演および講師決定</li> <li>・准看護師交流会の体験者の選定</li> <li>・学校説明の施設決定</li> </ul>
第3回	10月31日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職能委員会準備</li> <li>2. 看護師交流会企画決定</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職能委員会最終打ち合わせ</li> <li>・プログラム最終確認 スケジュール、担当の確認</li> <li>・看護師交流会をシンポジウム形式とし、シンポジスト2名テーマ決定</li> </ul>
第4回	12月8日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護師職能Ⅱとの合同委員会</li> <li>2. 職能委員会まとめ・評価</li> <li>3. 看護師交流会打ち合せ</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の合同開催の検討</li> <li>・職能委員会アンケート集計確認、評価</li> <li>・看護師交流会グループワーク企画検討</li> <li>・地区別職能委員長会報告</li> </ul>
第5回	平成30年 2月17日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護師交流会運営</li> <li>2. 准看護師交流会企画準備</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師交流会実施</li> <li>・准看護師交流会最終打ち合わせ</li> <li>・プログラム・スケジュール・担当の最終確認</li> </ul>
第6回	3月9日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護師交流会まとめ・評価</li> <li>2. 准看護師交流会運営 まとめ・評価</li> <li>3. 平成29年度委員会活動まとめ・評価</li> <li>4. 平成30年度年間計画検討</li> <li>5. その他</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師交流会アンケート結果確認、評価</li> <li>・准看護師交流会評価</li> <li>・平成28年度准看護師交流会追跡調査結果 まとめ</li> <li>・平成29年度活動報告</li> <li>・平成30年度年間活動目標、計画検討</li> <li>・全国職能委員長会報告</li> </ul>

IV 平成30年度 看護師職能委員会 I（病院領域） 活動計画

項 目	内 容	
活 動 目 標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護師が専門性を発揮しながらやりがいを持って働き続けることができるよう、看護師職能 I（病院領域）が抱える課題に取り組む</li> <li>2. 看護の質向上を図るために准看護師のスキルアップと進学を支援する</li> <li>3. 社会医療制度の動向を踏まえ、看護師職能 I（病院領域）の看護の役割を考え、質向上に向けて検討する</li> </ol>	
委員会開催予定	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護師職能 I（病院領域）委員会 年6回</li> <li>2. 看護師職能 I・II 合同委員会 必要時</li> <li>3. 三職能合同委員会 必要時</li> </ol>	
検討事項及び方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職能委員会の中期的な活動目標・計画を踏まえ、地域包括ケアにおける病院領域看護師の役割を明確にする。</li> <li>2. 看護師職能 I（病院領域）の看護師が働き続けることのできる職場づくりを推進し、看護師の抱える問題を整理する。</li> <li>3. 看護師交流会では、看護師職能 I・II の連携により、地域ごとの顔の見える関係を強化する。</li> <li>4. 准看護師交流会では、准看護師のスキルアップと進学支援を推進する。</li> </ol>	
職能集会交流会等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護師職能 I（病院領域）集会 年1回開催</li> <li>2. 看護師交流会 1回 領域 II との合同開催</li> <li>3. 准看護師交流会開催</li> </ol>	
そ の 他	日本看護協会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 千葉県看護協会看護師職能 I（病院領域）委員会活動状況報告</li> <li>2. 日本看護協会看護師職能 I（病院領域）の調査活動に協力</li> <li>3. 都道府県看護協会職能委員長会</li> <li>4. 地区別法人会・看護師職能委員長会</li> </ol>
	印刷物等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職能集会資料</li> <li>2. 交流会資料</li> <li>3. 職能委員会ホームページの記事掲載および更新</li> <li>4. その他</li> </ol>
	そ の 他	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 千葉県看護協会事業への参加・協力</li> <li>2. 千葉県小児保健協会理事会・総会への参画</li> </ol>

# 看護師職能委員会（領域Ⅱ）

委員長 許 斐 玲 子

## I 活動目標

1. 介護・福祉関係施設・在宅等領域の看護の役割を考え、看護の質向上に向けた取り組みを行う。
2. 千葉県内の介護施設の実態を把握し、領域Ⅱの看護師職能が抱える課題を抽出する。

## II 活動内容

### 1. 職能集会の開催。

(1) 日 時：平成29年10月26日(木) 13：30~16：30

(2) 会 場：千葉県土地改良会館 4階大会議室

(3) テーマ：介護・福祉関係施設、在宅等における看護師の役割～スキンケアを通して～

(4) 内 容：

・講演 介護・福祉関係施設、在宅等における看護師の役割～スキンケアを通して～

セコメディック病院 皮膚排泄ケア認定看護師 小俣 佳子氏

・グループワーク スキンケアで困ること、施設での工夫、講演者への質問等

(5) 結 果

参加者は53名だった。施設でのスキントラブルやスキンケアの方法について講演をいただき、グループワークでは自施設の困っていること・工夫していることに対する他施設からの情報交換が活発になされた。

### 2. 交流会の開催。

(1) 日 時：平成29年12月8日（金）13：30~16：30

(2) 会 場：千葉看護会館 中研修室

(3) テーマ：介護・福祉関係施設、在宅等における多職種共働とは

(4) 内 容：

・講演 介護・福祉関係施設、在宅等における多職種共働とは

千葉県立保健医療大学 高齢者・在宅看護学教授 杉本 知子氏

(5) 結 果

参加者は33名だった。多職種共同のテーマで講演をいただき、グループワークでは自施設の多職種共同を推進するに当たり課題となっていること、円滑な共同に向けた方法などが討論された。

(6) 総 括

職能集会・交流会ともに活発な質問・意見交換が行われ、参加者の問題意識の高さがうかがえた。

### 3. 現状調査

会員・非会員問わず千葉県内の介護・福祉関係施設・在宅分野施設に送付し、最大6名までの看護師に回答を求めた。単純集計を経て施設ごとの集計をし直した。

回答が多かった施設は訪問看護ステーションであった。交流会・職能集会開催希望日に関しては施設ごとに違いがあったが平日の午後を希望されている施設が多く、今までの開催日が妥当であった。講演内容に関する希望では皮膚・排泄ケア部門の褥瘡・スキンケアや認知症に関する希望が多かった。今後の交流会・職能集会開催の参考にできるものと考えられる。

### 4. 今後の課題

職能委員会開催の初回開催が例年7月以降になるため今年度から来年度の職能集会や交流会講師決定やテーマなどを検討しておき、円滑な開催につなげる。

領域 I との合同交流会を看取りをテーマに1回開催する。現状調査の結果を踏まえて認知症をテーマに職能集会を開催する。

小児保健学会への座長の参加準備を行う。

### Ⅲ 委員会開催状況

回数	開催月日	議 題	内 容
第 1 回	平成29年 8月10日	①活動計画及び運営について ②役割分担 ③次回開催予定	①②③について討議した。副委員長は決定できず、書記は分担制となった。
第 2 回	9月8日	①職能集会について ②交流会について	①職能集会の役割分担を決定した。 ②交流会の講師決定などを行った。 ③副委員長が決定した。
第 3 回	10月26日	①職能集会の最終決定について ②交流会について	①午後の職能集会の最終確認を行った。 ②交流会の講師との打ち合わせを担当者が施行した。
第 4 回	11月13日	①職能集会の評価 ②交流会役割分担 ③小児保健学会 ④中間まとめについて ⑤実態調査	①職能集会はおおむね成功した。 ②交流会役割分担を決めた。 ③小児保健学会の座長について検討した。 ④まとめを討議した。 ⑤単純集計を読みあわせた。
第 5 回	12月8日	①交流会最終確認 ②小児保健学会 ③実態調査 ④領域 1 との合同委員会	①交流会はおおむね成功した。 ②学会の座長候補者の選定をした。 ③実態調査のデータを確認し、施設ごとの分類を行うことにした。 ④合同交流会開催に向けて委員会を開催した。
第 6 回	平成30年 1月22日	①実態調査 ②小児保健学会 ③領域 I との合同委員会・交流会 ④中間・年度まとめ ⑤次年度活動計画 ⑥その他	①施設ごとの意見を分類した。 ②来年の座長・演題を尾崎委員が交渉予定。平成31年1月開催予定。 ③2月17日（土）の領域 I の交流会に委員が数名参加する予定 ④年度まとめと代表者会議に提出する資料を作成した。 ⑤領域 I との交流会を1回開催する。職能集会は認知症をテーマにして行う。時期は未定。
第 7 回	2月19日	①実態調査 ②小児保健学会 ③領域 I との合同委員会・交流会 ④中間・年度まとめ ⑤次年度活動計画 ⑥その他	①施設ごとの意見から、研修テーマは「認知症」が最も多かったため、次年度の職能集会のテーマとした。 ②第6回と同様。 ③2月17日（土）の交流会に1名参加した。領域 I の看護師は看取りに関する悩みを抱えていることが分かった。
第 8 回	5月31日	①領域 I ・ II 合同委員会	

IV 平成30年度 看護師職能委員会（領域Ⅱ）活動計画

項 目		内 容
活 動 目 標		領域Ⅱの看護師がおかれている現状を把握し、領域Ⅱの看護師の抱える課題や悩みを取り上げながら解決に向けた方策を考え、看護協会長への助言を行う。
委員会開催予定		1. 2018年7月～2019年2月までの間、原則年6回とする。
検 討 事 項		1. 看護師職能領域Ⅱ 職能集会の開催 2. 交流会の開催 3. 小児保健学会座長の決定と参加
そ の 他	日本看護協会	1. 千葉県看護協会看護師職能委員会領域Ⅱの活動状況報告 2. 日本看護協会看護師職能委員会領域Ⅱの調査活動に協力 3. 都道府県看護師職能委員長会 年2回 4. 地区別看護師職能委員長会 年1回
	印刷物等	1. 職能集会資料 2. 交流会資料 3. その他
	そ の 他	1. 千葉県看護協会事業への参加・協力 2. 千葉県小児保健協会理事会・総会への参画



# 公益社団法人日本看護協会関係報告

会 長 星 野 恵 美 子

## 法人会報告及び職能委員長会報告

### I 法人会会員会（全国）

#### 1 平成29年度 第1回法人会会員会

日 時 平成29年5月12日(金) 15:15～16:00  
場 所 JNAホール  
議 題 平成29年度地域の政策力強化に関する事業  
について

#### 2 平成29年度 第2回法人会会員会

日 時 平成29年7月27日(木) 9:30～12:00  
場 所 JNAホール  
議 題 (1) 公益法人制度と公益社団法人の運営  
について  
(講師) パブリック・ベネフィット  
研究所 代表 星さとる氏  
(2) 看護連盟との連携について  
(3) 平成29年度地区別法人会会員会につ  
いて  
(4) 平成29年度都道府県看護協会支部役  
員等研修について

#### 3 平成29年度 第3回法人会会員会

日 時 平成29年9月20日(水) 13:00～16:00  
場 所 JNAホール  
議 題 (1) 第7次医療計画策定・推進に向けた  
都道府県看護協会への期待  
(講演者) 松岡輝昌氏  
厚生労働省医政局地域医療計画課  
医師確保等地域医療対策室長  
(在宅医療推進室長併任)  
(2) その他

#### 4 平成29年度 第4回法人会会員会

日 時 平成29年11月21日(火) 9:30～12:00  
場 所 JNAホール  
議 題 (1) 平成29年度地域の政策力強化に関す  
る事業について  
(2) 研修における外部事業者との連携に  
ついて  
(3) その他

#### 5 平成29年度 第5回法人会会員会

日 時 平成30年2月22日(木) 14:15～16:00  
場 所 JNAホール  
議 題 (1) 地域医療介護総合確保基金につ  
いて  
(2) その他

### II 地区別法人会会員会（関東甲信越地区）

日 時 平成29年10月23日(月)  
場 所 アルカディア市ヶ谷  
法人会員連絡会 9:30～13:15  
(情報交換・連絡調整)  
法人会会員会 13:30～18:10  
議 題 (1) 認定看護師制度の再構築につ  
いて  
(2) 准看護師制度の業務範囲に対する課  
題対応について  
(3) 地域における看護政策力強化につ  
いて  
(4) 新「会員情報管理体制」に関する進  
捗報告  
(5) その他

## 職能委員長会報告

### I 全国職能委員長会

#### 1 平成29年度第1回全国職能委員長会

(全体会)

日 時 平成29年8月2日(水) 10:00~13:10

場 所 TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

報告事項

- (1) 平成29年度の国会重点政策・重点事業について
  - (2) 新「会員情報管理体制」について
- 今後の職能委員会の運営について

#### 〈保健師職能委員長会〉13:30~16:00

議 題

- (1) 平成29年度保健師関連事業および保健師職能委員会活動指針について
- (2) 事例発表  
「県看護協会地区支部で子育て世代包括ケアに取り組む意義」  
モデル事業5県から発表
- (3) 地区別グループ討議  
「子育て世代包括ケアについて、保健師職能委員長として何ができるのか」
- (4) 委員長まとめ

#### 〈助産師職能委員長会〉13:30~16:00

議 題

- (1) 院内助産・助産師外来の推進にむけた助産師職能委員会6カ年の取り組みについて
- (2) 平成29年度重点政策・重点事業(助産関連)および助産師職能委員会活動方針について
- (3) CLoCMiPRレベルⅢ認証申請における新規申請および更新要件について
- (4) "助産師に求められるウィメンズヘルスケア"について
- (5) グループ討議  
「院内助産・助産外来を活用した妊娠期から育児期における切れ目ない支援とアドバンス助産師の役割について」
- (6) 委員長まとめ

#### 〈看護師職能委員長会Ⅰ 病院領域〉13:30~16:00

議 題

- (1) 関連事業報告  
「『病院で働く看護職の賃金のあり方』の普及に向けた取り組み」について
- (2) 平成29年度看護師職能委員会Ⅰ病院領域の活動方針について
- (3) 地区別グループ討議・発表  
「病院における看護職と他職種との連携や協働、役割分担に関する現状について」

#### 〈看護師職能委員長会Ⅱ

介護・福祉関係施設・在宅等領域〉13:30~16:00

議 題

- (1) 平成29年度重点政策・重点事業について
- (2) 平成29年度看護師職能委員会Ⅱ活動方針について
- (3) 講演「救急業務の現状と課題」  
消防庁救急企画室課長補佐 小久江賢一氏
- (4) 講演「ICTを利用した死亡診断のガイドラインについて」  
厚生労働省医政局看護課  
看護サービス推進室長補佐 穴見翠氏
- (5) 地区別グループ討議  
テーマ:①施設等での医療・看護のあり方;看取り期の救急搬送の現状と課題  
②看護師職能委員会Ⅱ及び都道府県看護協会看護師職能委員会Ⅱにおける組織力強化のための具体策

#### 2 平成29年度第2回全国職能委員長会

日 時 平成30年3月2日(金) 10:00~16:00

場 所 TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

全体会 10:00~12:00

報告事項

- (1) 平成29年度重点政策・重点事業報告および平成30年度重点政策・重点事業計画について
- (2) 平成30年度職能委員長に関する会議等の開催について
- (3) 新会員情報管理体制について